

県内の交通事故の現状 (令和8年上半期)

**鹿児島県警察本部交通部
交通企画課統計分析係**

－ 2026.8 －

目次

1	県内の交通事故の推移（過去10年間上半期）	P 2
2	四輪車乗車中の死傷者の状況について	P 4
3	二輪車乗車中の死傷者の状況について	P 5
4	自転車乗用中の死傷者の状況について	P 7
4 - 1	自転車乗用中死傷者のヘルメット着用状況について	P 8
4 - 2	自転車事故について	P 9
5	歩行中死傷者の状況について	P 10
5 - 1	歩行中死傷者の状況について（高齢者）	P 13
6	こどもの事故の状況について	P 15
7	反射材着用状況について	P 20
8	高齢運転者事故（第1当一般原付以上）の状況について	P 21
9	飲酒運転事故（第1当一般原付以上）の状況について	P 25
10	外国人運転事故の状況について	P 26

1 県内の交通事故の推移（過去10年間上半期）

- 発生件数、死者、負傷者数は前年に比べ**減少**（図1）
- 状態別では、死者、負傷者ともに**自動車乗車中が最も多い**。（図2、図3）
- 高齢死者は、平成15年以降、23年連続で死者の過半数を占め、令和8年上半期中の高齢死者は死者全体の**約58%**を占める。（図4）
- 第1当高齢運転者による人身事故の構成率は、過去10年間で緩やかに増加し、令和8年上半期中の構成率は約31%を占め、交通死亡事故の構成率は約44%を占める。（図5）

図1 発生件数、負傷者数、死者数の推移

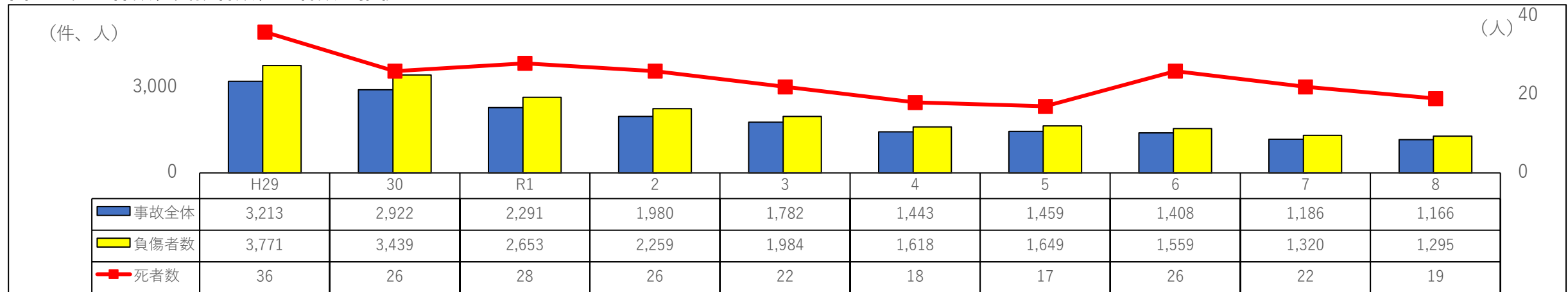


図2 状態別死者数（R8）

図3 状態別負傷者数（R8）

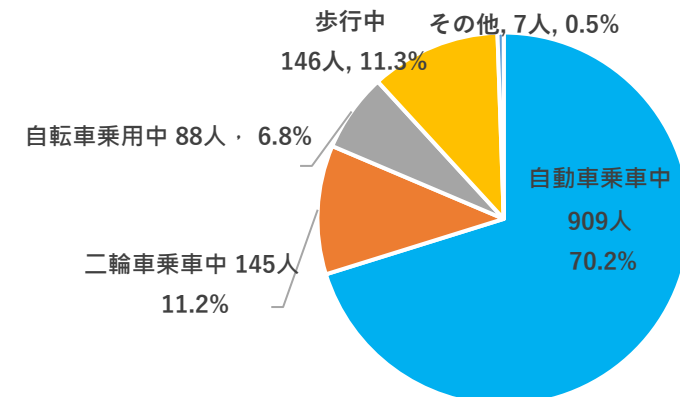
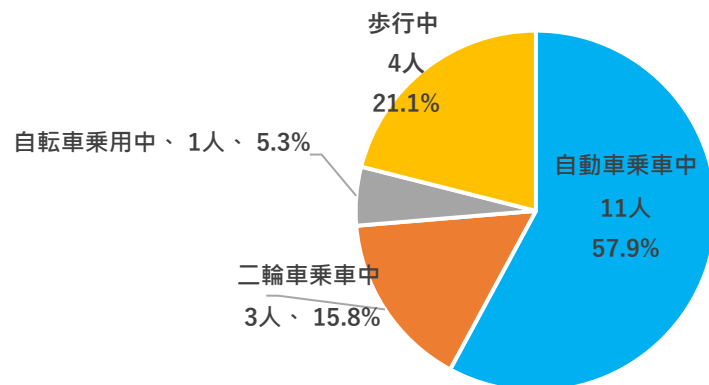


図4 死者全体に占める高齢死者の構成率の推移

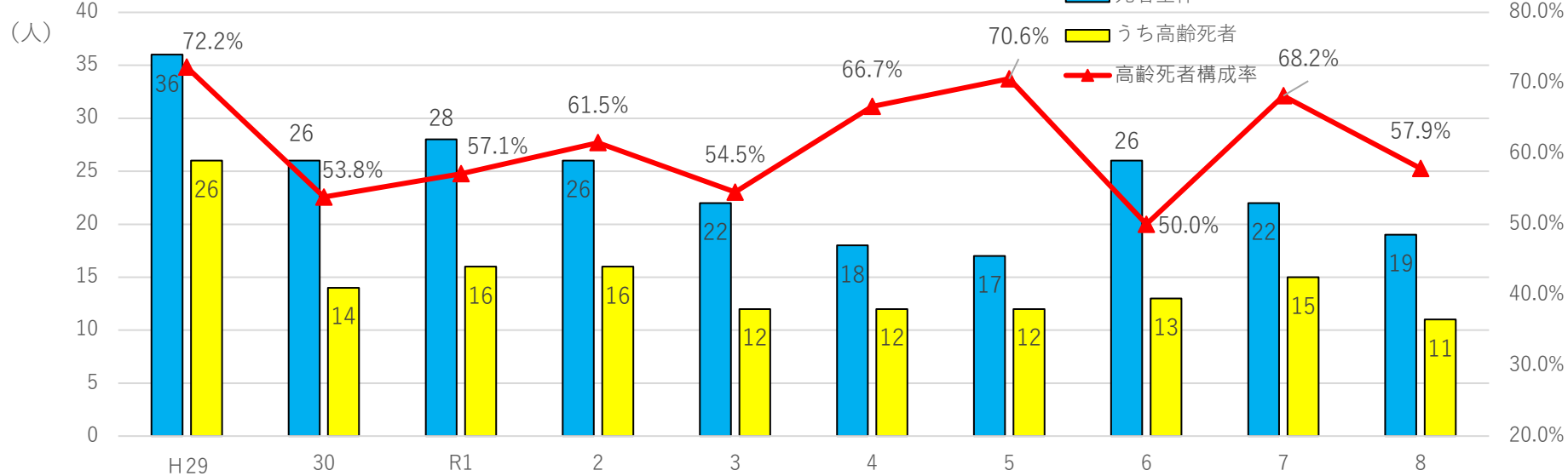
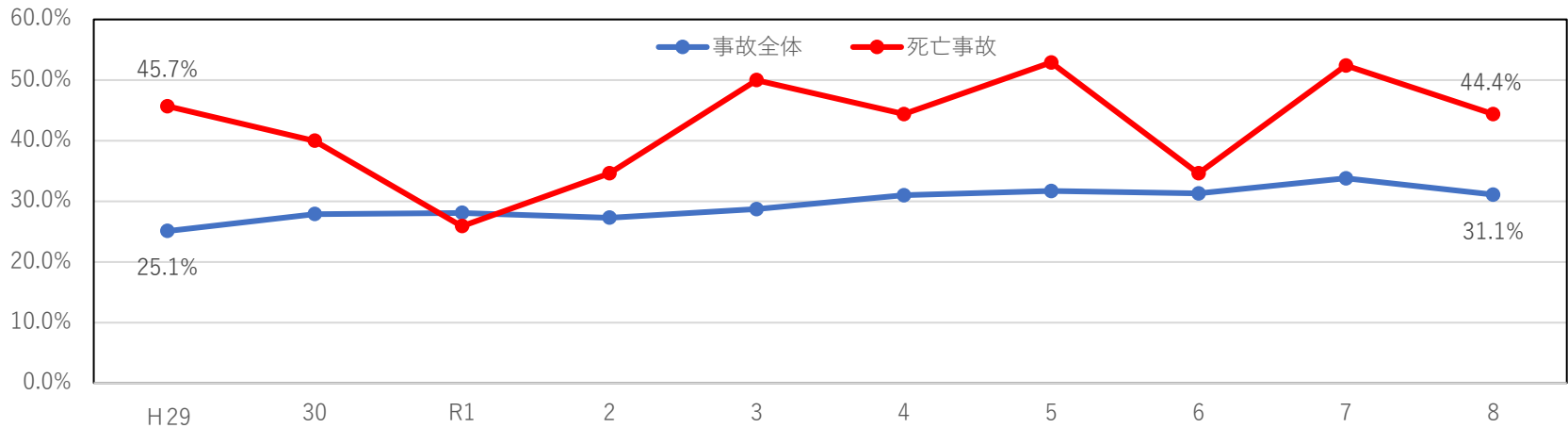


図5 第1当高齢運転者による構成率の推移



区分/年別	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事故全体	3,213	2,922	2,291	1,980	1,782	1,443	1,459	1,408	1,186	1,166
うち高齢運転者	805	816	643	540	511	448	463	440	401	363
構成率	25.1%	27.9%	28.1%	27.3%	28.7%	31.0%	31.7%	31.3%	33.8%	31.1%
死亡事故	35	25	27	26	22	18	17	26	21	18
うち高齢運転者	16	10	7	9	11	8	9	9	11	8
構成率	45.7%	40.0%	25.9%	34.6%	50.0%	44.4%	52.9%	34.6%	52.4%	44.4%

2 四輪車乗車中の死傷者の状況について

- 死傷者数は前年より**増加**（図1）
- 年代別の死傷者は**40歳代が最も多く**、次いで**30歳代**、**50歳代**が多い（図2）
- 時間帯別の死傷者は**16～17時台が最も多く**、次いで**14～15時台**が多い（図3）

図1

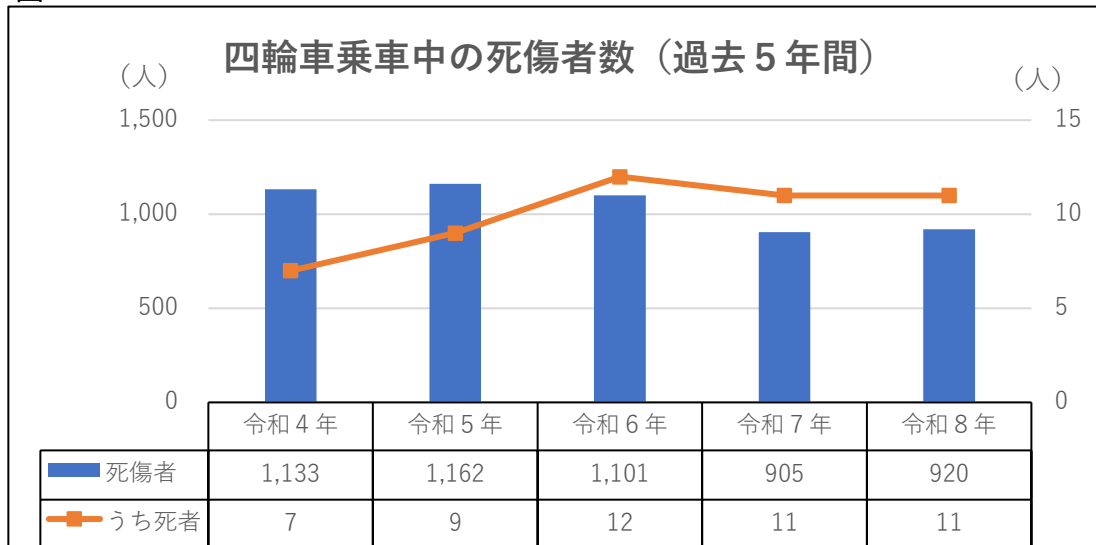


図2

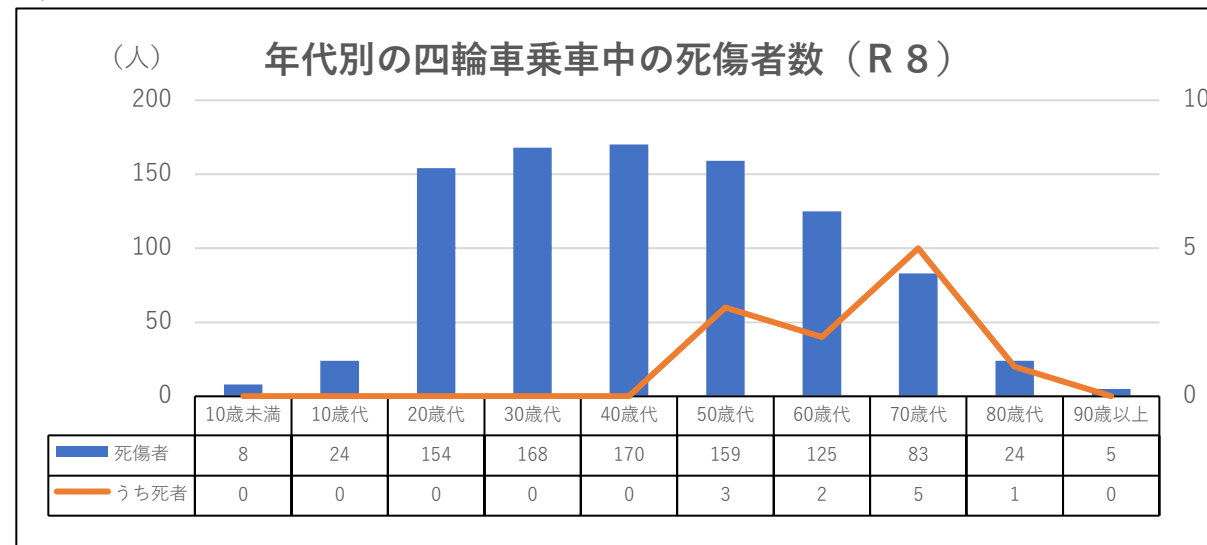
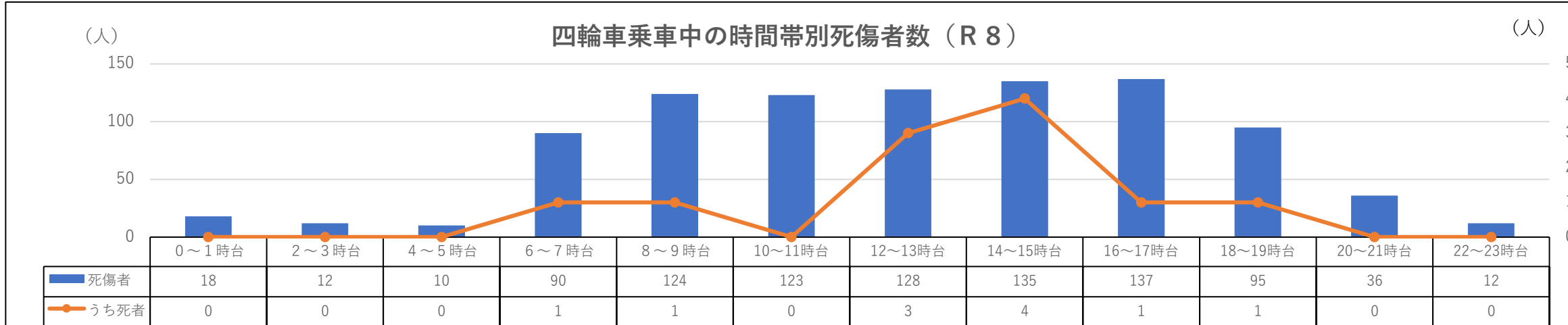


図3



3 二輪車乗車中の死傷者の状況について

- 死傷者数は前年より**減少**（図1）
- 当事者別の死傷者は、**一般原付が最も多く**、次いで**原付二種**が多い（図2）
- 年代別の死傷者は**20歳代が最も多く**、次いで**10歳代**が多い（図3）
- 時間帯別の死傷者は**16～17時台が最も多く**、次いで**6～7時台**が多い（図4）

図1

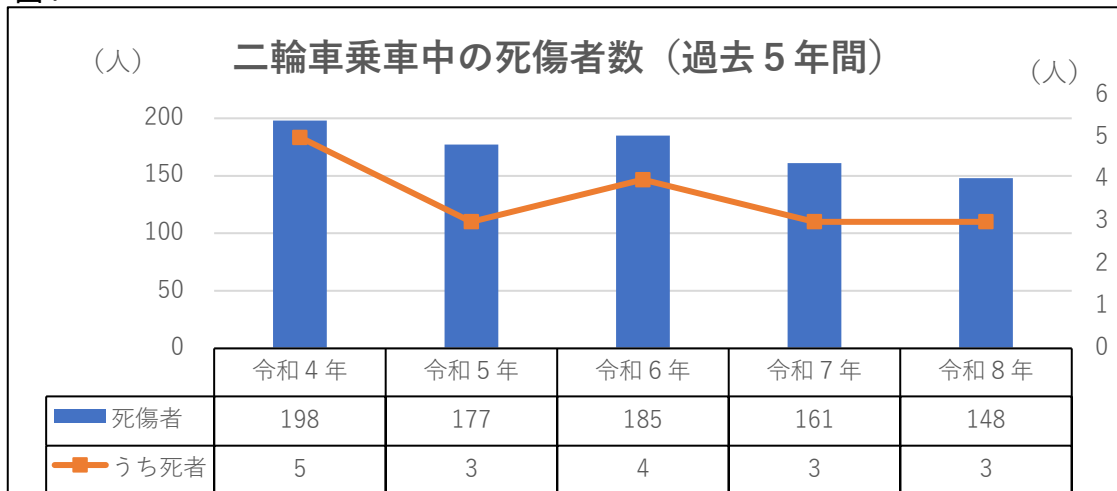


図2

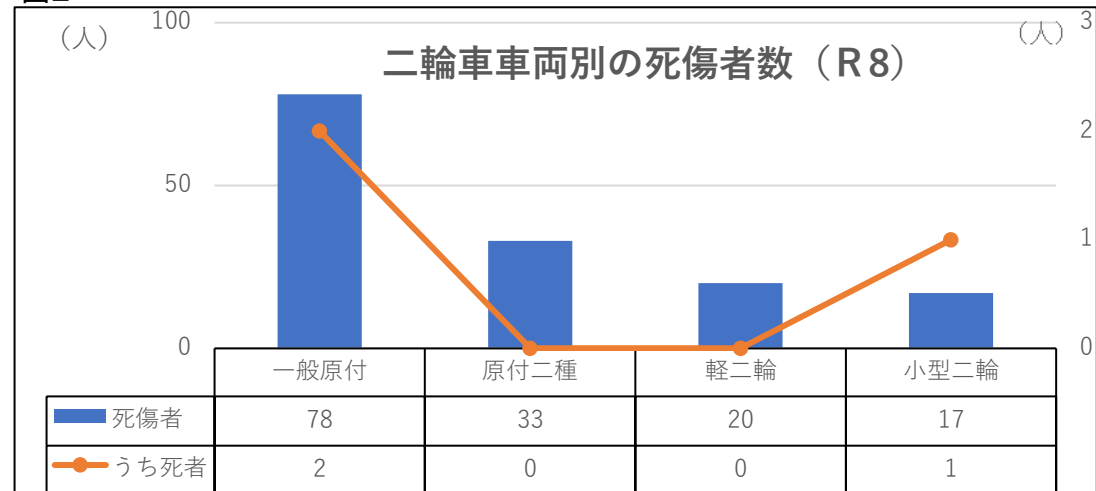


図3

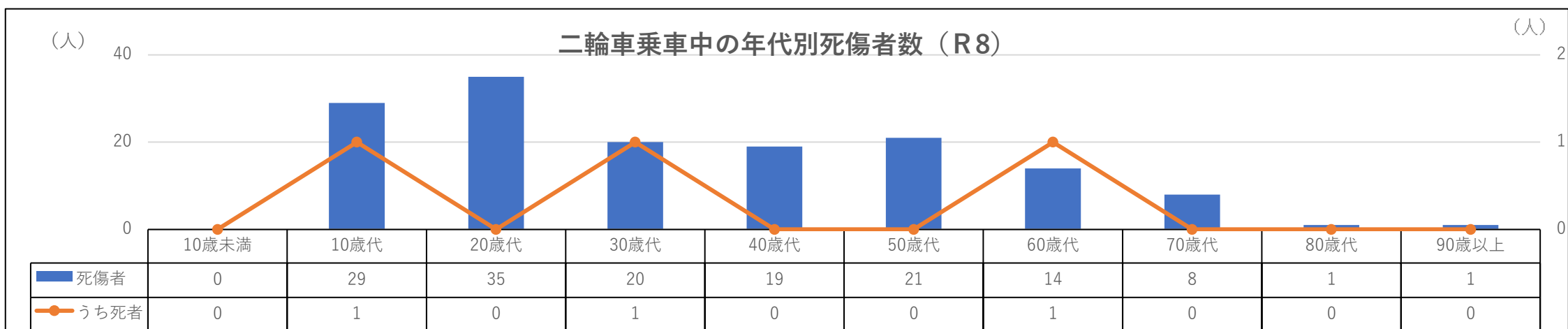
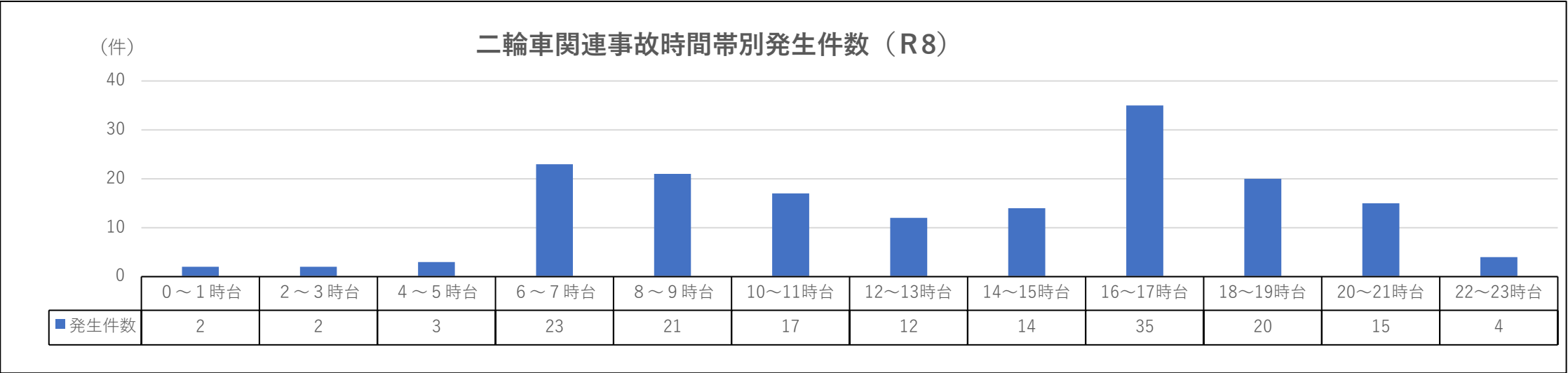


図4



4 自転車乗用中の死傷者の状況について

- 死傷者数・死者数は前年と増減なし（図1）
- 年代別の死傷者は10歳代が最も多く、次いで20歳代が多い（図2）
- 時間帯別の死傷者は16～17時台が最も多く、次いで18～19時台が多い（図3）

図1

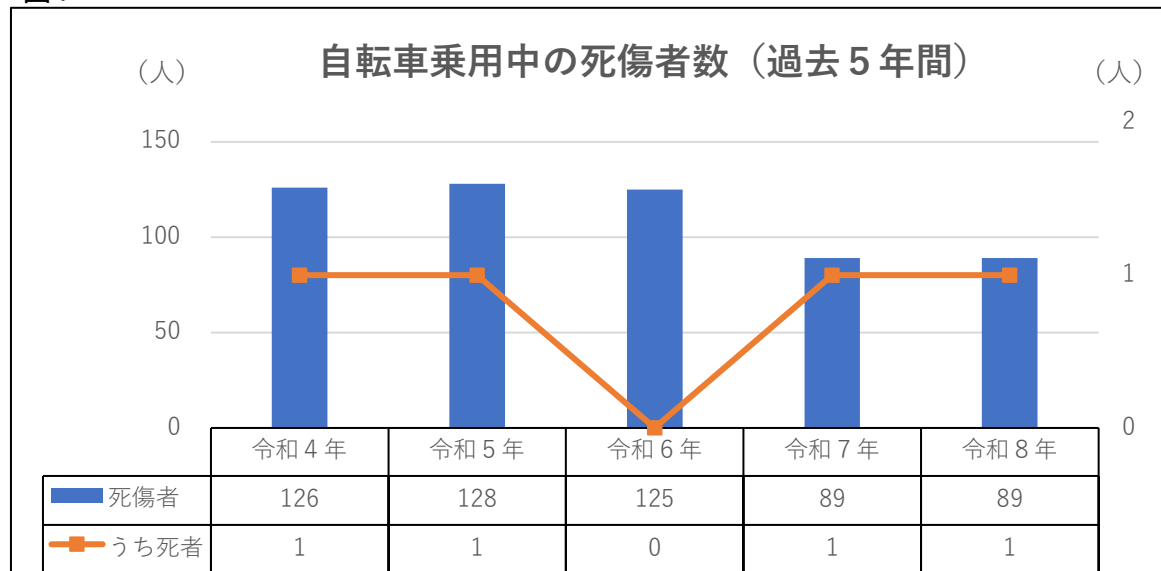


図2

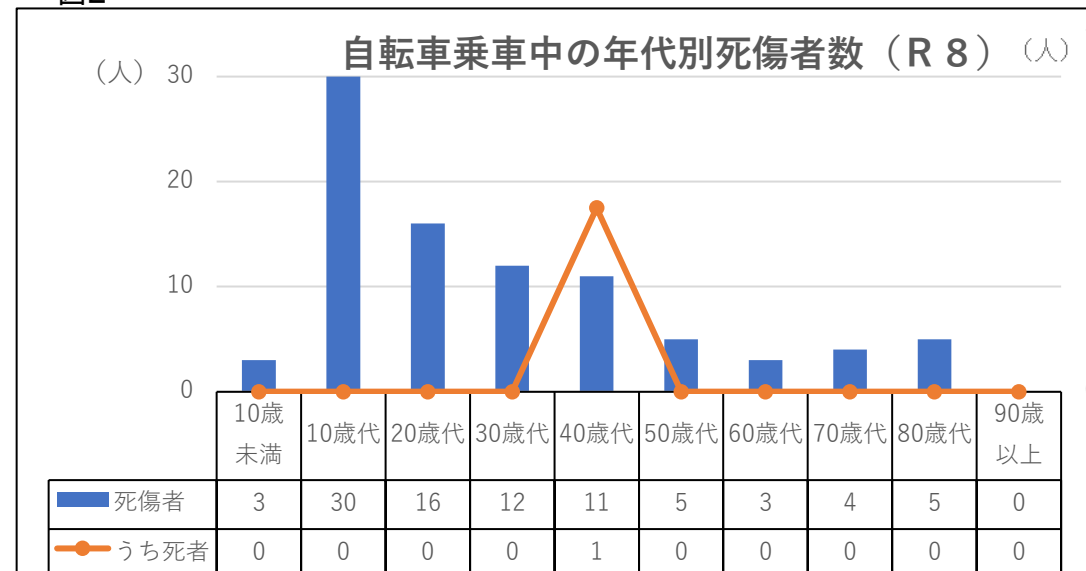
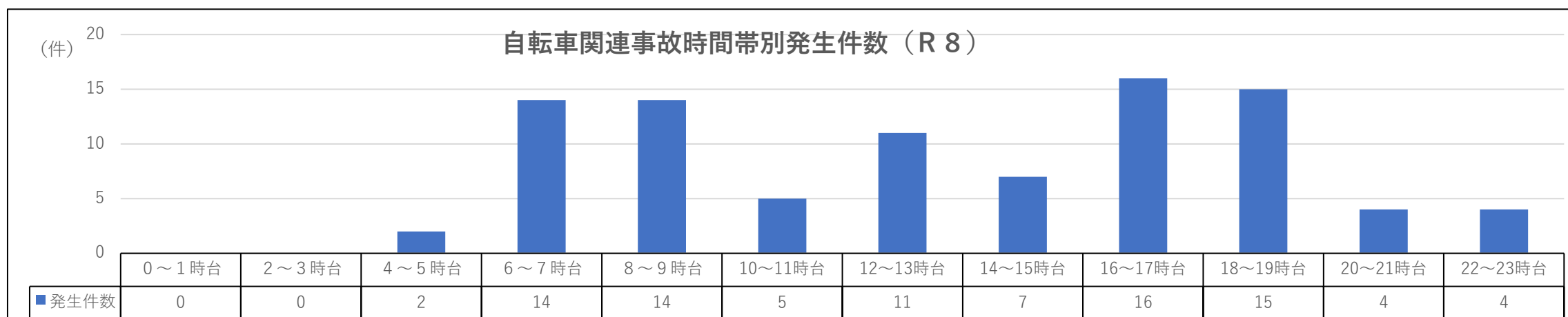


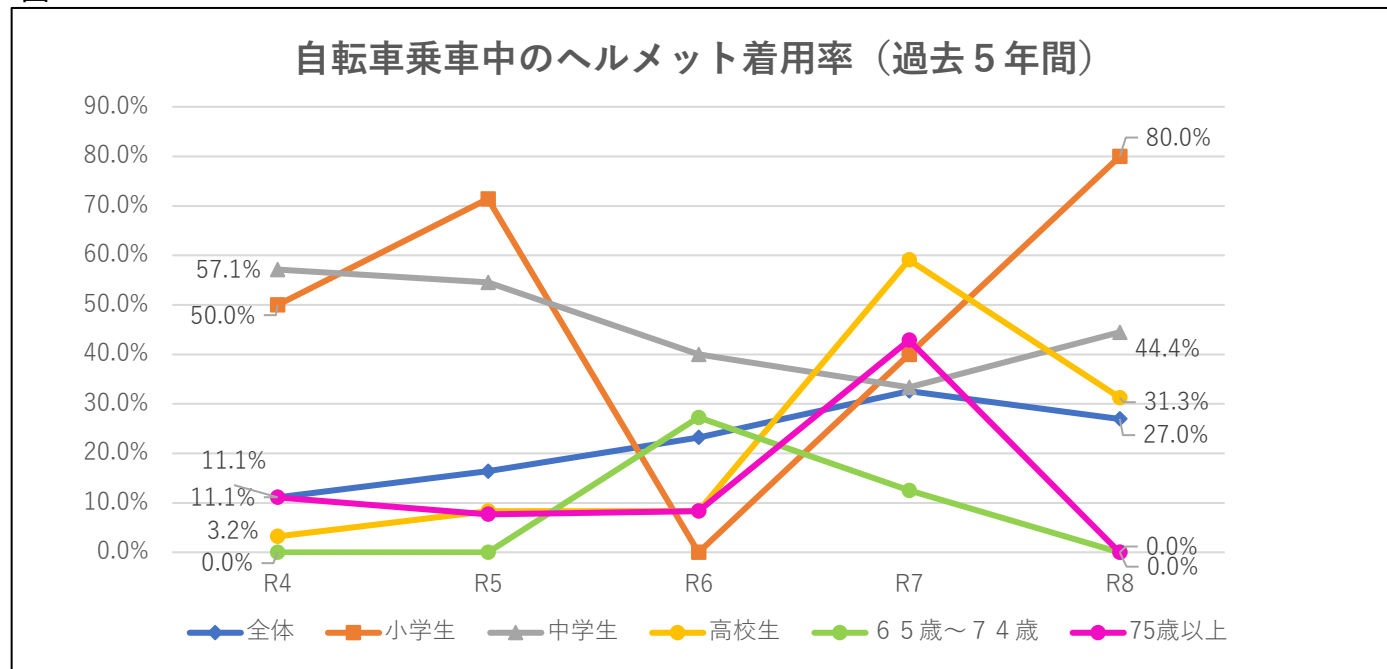
図3



4-1 自転車乗用中死傷者のヘルメット着用状況について

- 全体の着用率は27.0%で、前年より5.6%減少（図1）
- 小学生のヘルメット着用率は80%で、前年より40%増加（図1）
- 中学生のヘルメット着用率は約44%で、前年より約11%増加（図1）
- 高校生のヘルメット着用率は約31%で、前年より約28%減少（図1）

図1



	全体	小学生	中学生	高校生	65歳～74歳	75歳以上
R4	11.1%	50.0%	57.1%	3.2%	0.0%	11.1%
R5	16.4%	71.4%	54.5%	8.3%	0.0%	7.7%
R6	23.2%	0.0%	40.0%	8.3%	27.3%	8.3%
R7	32.6%	40.0%	33.3%	59.1%	12.5%	42.9%
R8	27.0%	80.0%	44.4%	31.3%	0.0%	0.0%

※「着用不明」は「非着用」として集計した。

全体	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R4	126	14	11.1%
R5	128	21	16.4%
R6	125	29	23.2%
R7	89	29	32.6%
R8	89	24	27.0%
小学生	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R4	4	2	50.0%
R5	7	5	71.4%
R6	3	0	0.0%
R7	5	2	40.0%
R8	5	4	80.0%
中学生	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R4	7	4	57.1%
R5	11	6	54.5%
R6	5	2	40.0%
R7	12	4	33.3%
R8	9	4	44.4%
高校生	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R4	31	1	3.2%
R5	24	2	8.3%
R6	24	2	8.3%
R7	22	13	59.1%
R8	16	5	31.3%
65歳～74歳	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R4	11	0	0.0%
R5	8	0	0.0%
R6	11	3	27.3%
R7	8	1	12.5%
R8	5	0	0.0%
75歳以上	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R4	18	2	11.1%
R5	13	1	7.7%
R6	12	1	8.3%
R7	7	3	42.9%
R8	7	0	0.0%

4-2 自転車事故について

- 自転車対自動車事故は減少傾向であったが本年は増加、自転車対歩行者事故は前年より減少（図1）
- 自転車対自動車事故の約72%は交差点内で発生（図2）、自転車対歩行者事故の約41%は歩道で発生（図3）

図1

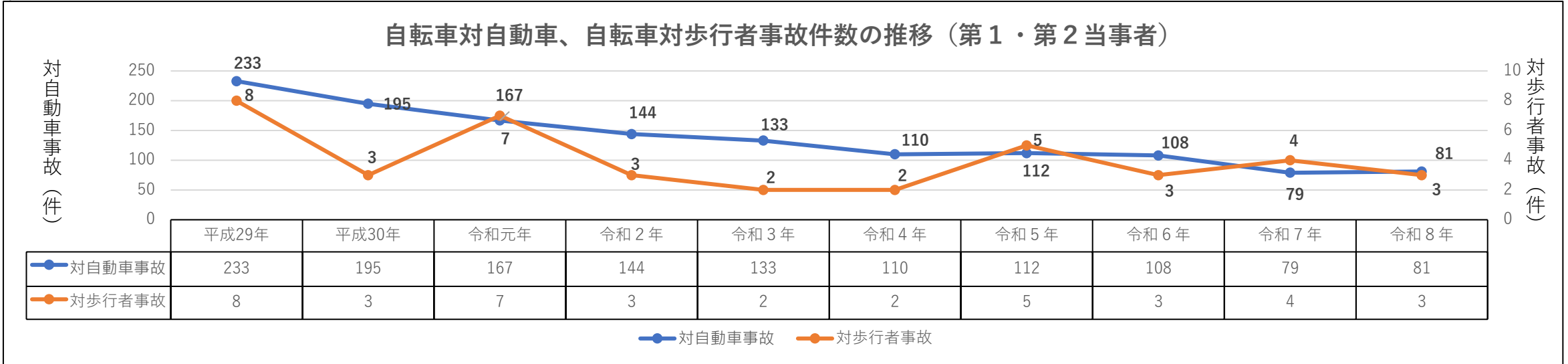
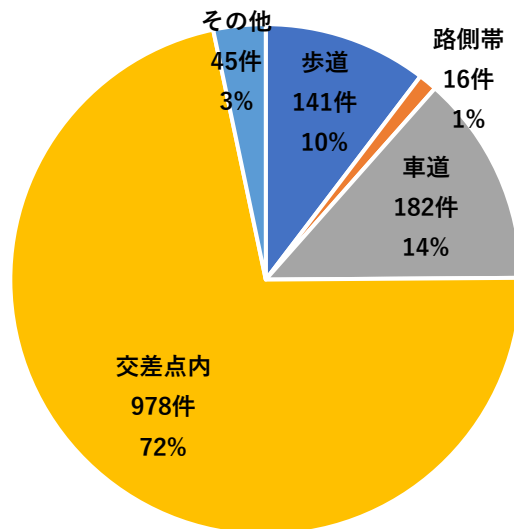
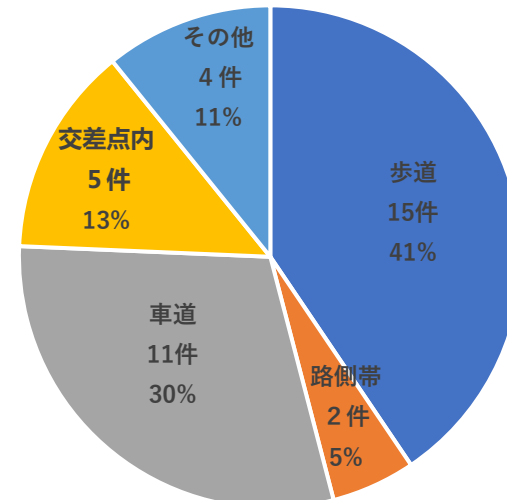


図2

自転車対自動車の衝突地点別事故件数（過去10年）



自転車対歩行者の衝突地点別事故件数（過去10年）



5 歩行中死傷者の状況について

- 死者・死傷者数は前年より減少（図1）
- 年代別の死傷者は、70歳代が最も多く、次いで60歳代が多い。（図2）
- 道路形状別の死傷者は、交差点が最も多く、路線別では市町村道が、昼夜別では昼が最も多い。（図3、4、5）
- 夜間における致死率は、昼間の約1.6倍であり、時間帯別の死傷者数は、10～11時・14時～19時が多い（図6、7）
- 横断方向別の死傷者は、昼間は左から右が多く、夜間は右から左が多い。（図9）

図1

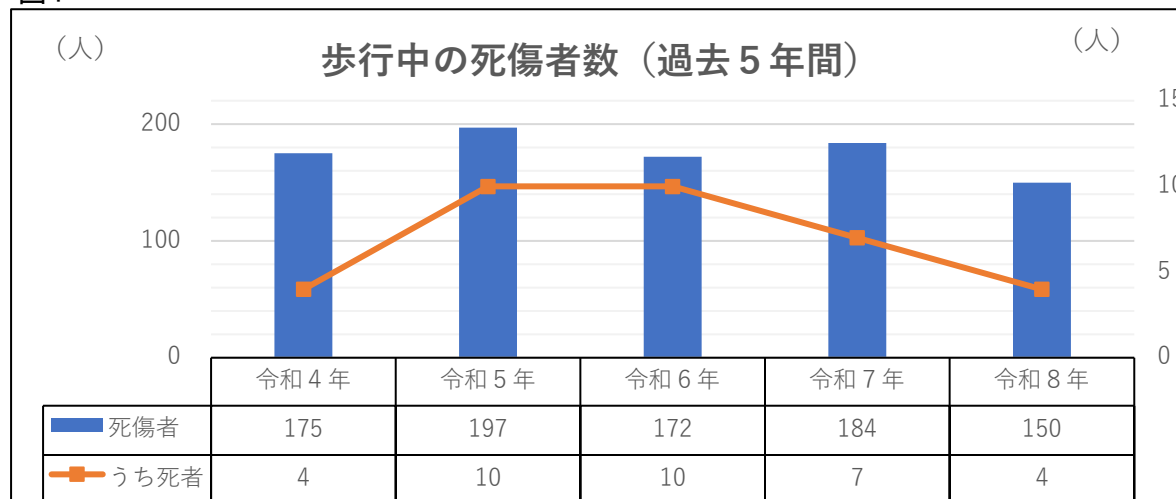


図2

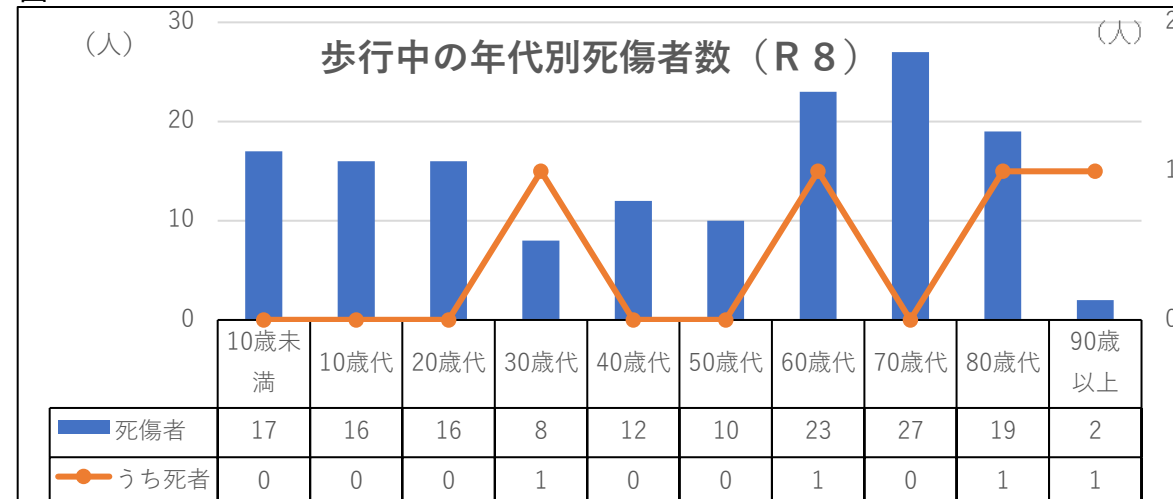


図3

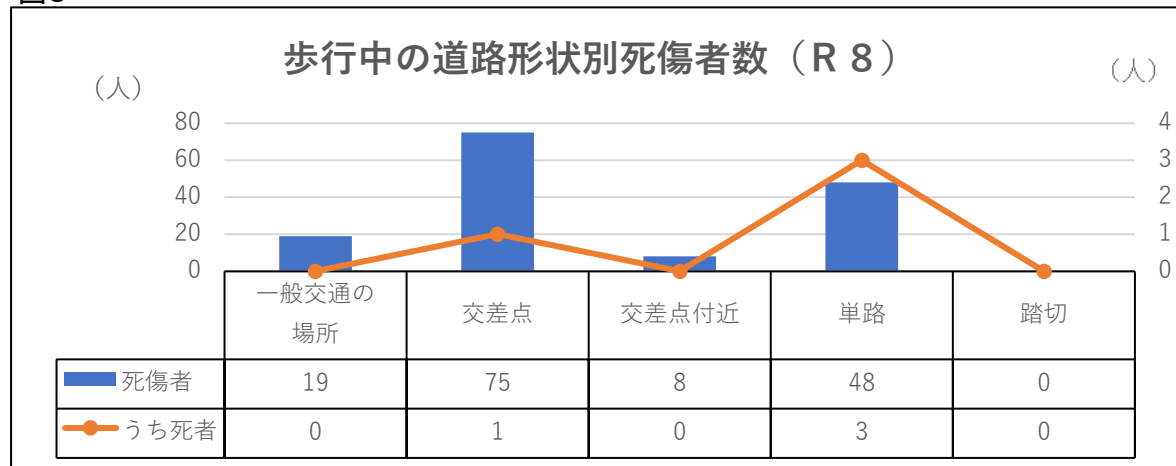


図4

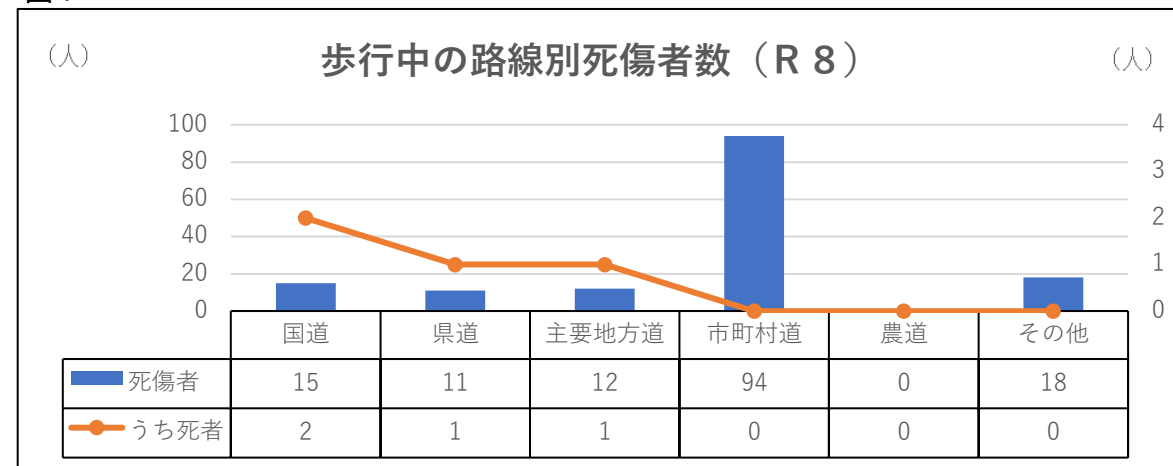
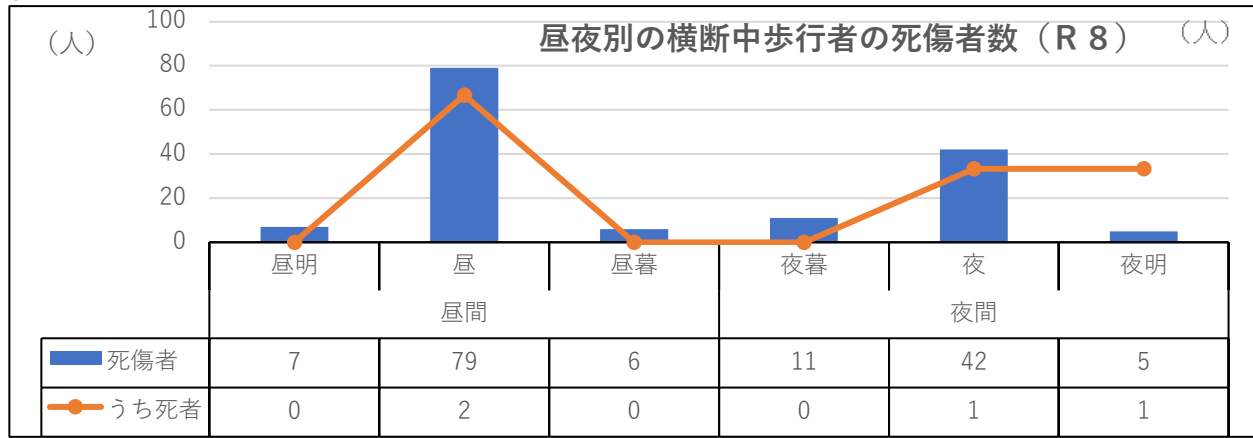


図5



注：「昼明」とは、日の出の後1時間の間（払曉時間帯）をいう。
「昼」とは、「昼明」及び「昼暮」以外の「昼間」をいう。
「昼暮」とは、日の入りの前1時間の間（薄暮時間帯）をいう。

注：「夜暮」とは、日の入りの後1時間の間（薄暮時間帯）をいう。
「夜」とは、「夜暮」及び「夜明」以外の「夜間」をいう。
「夜明」とは、日の出の前1時間の間（払曉時間帯）をいう。

図6

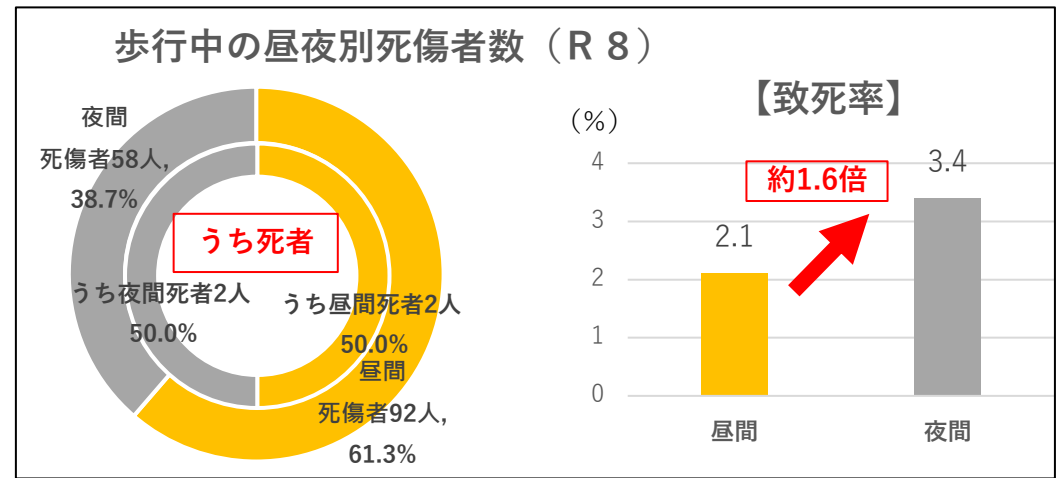


図7

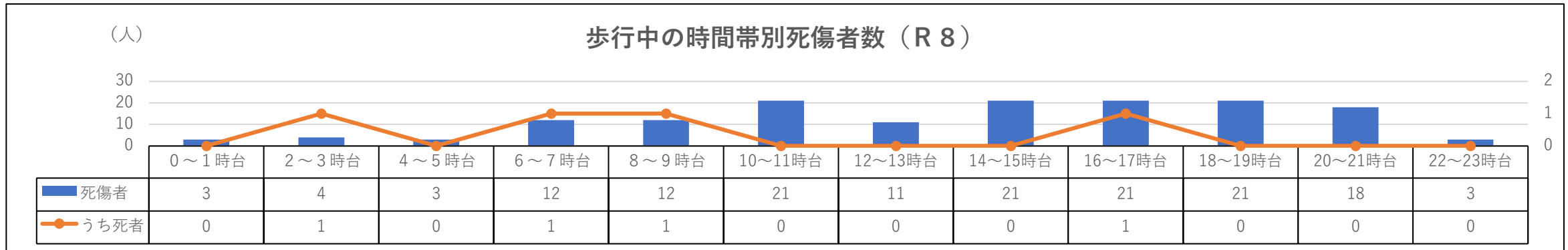


図8

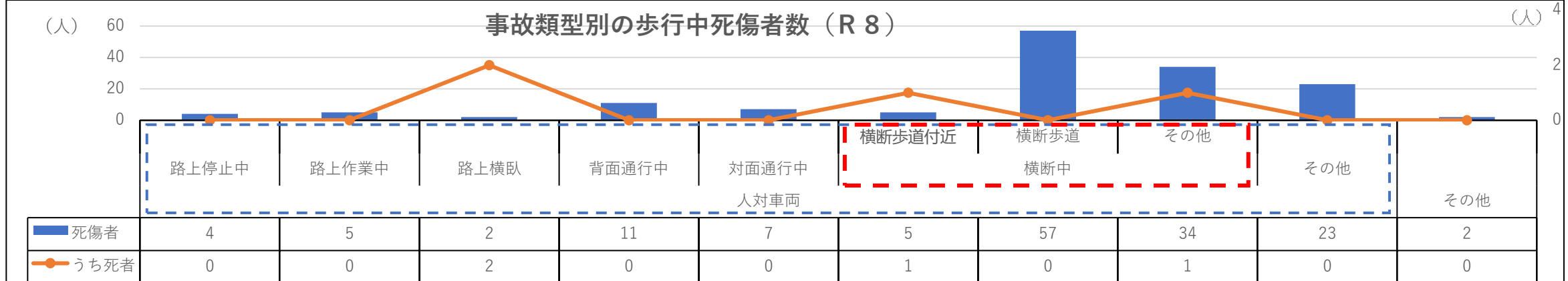


図9

横断歩行中の昼夜横断方向別死傷者数（R 8）

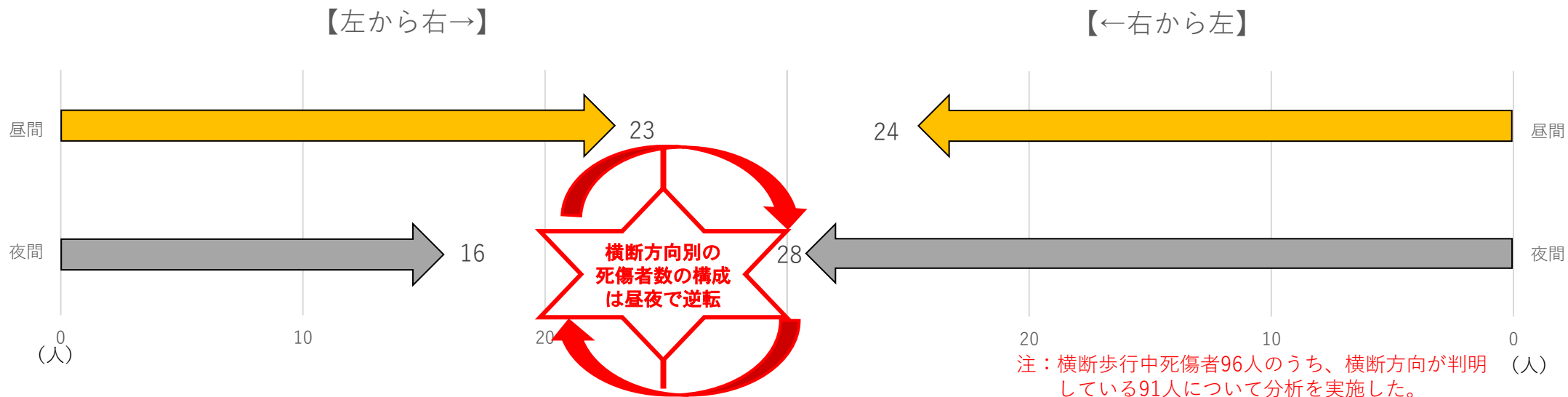
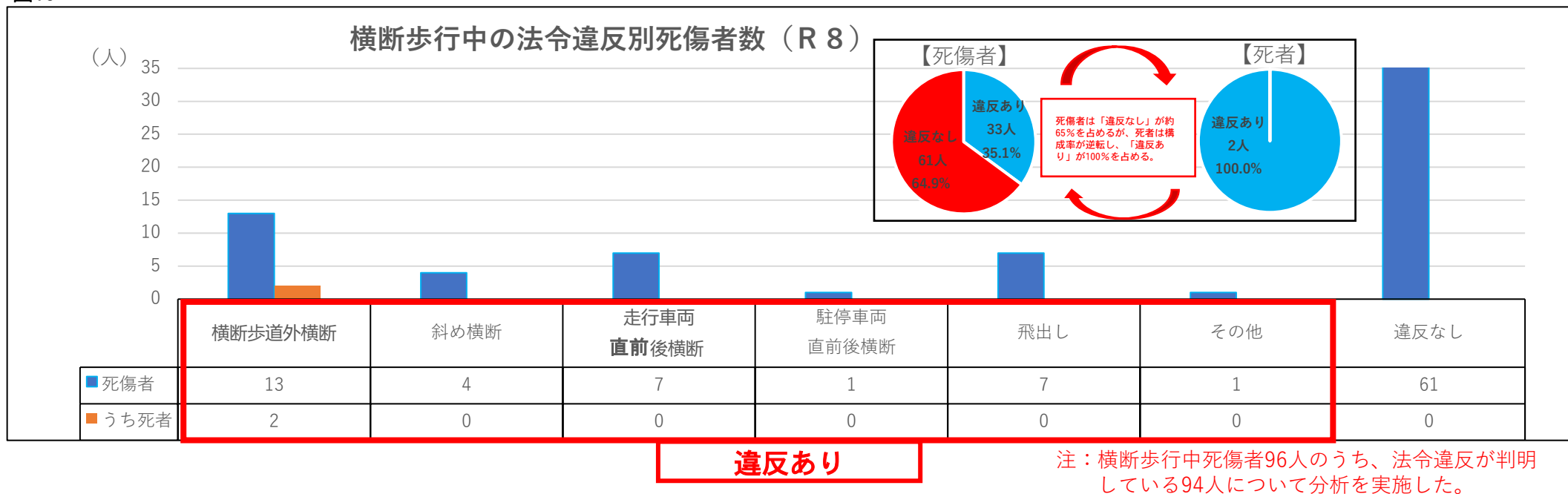


図10



5-1 歩行中死傷者の状況について（高齢者）

- 歩行中死者に占める高齢者の割合は前年より減少したものの、高水準を推移している（図1）
- 死者数・死傷者数は前年より減少（図2）
- 時間帯別の死者は、6～7時台が最も多い（図3）
- 事故類型別の死者は、横断歩行中が全体の約65%を占める。（図4）
- 横断方向別の死者は、右から左が多い（図5）

図1

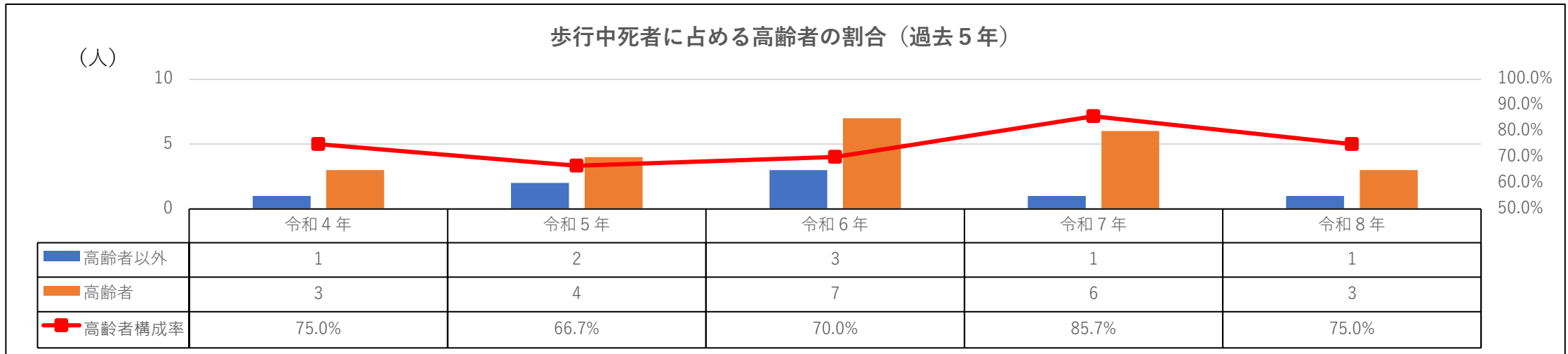


図2

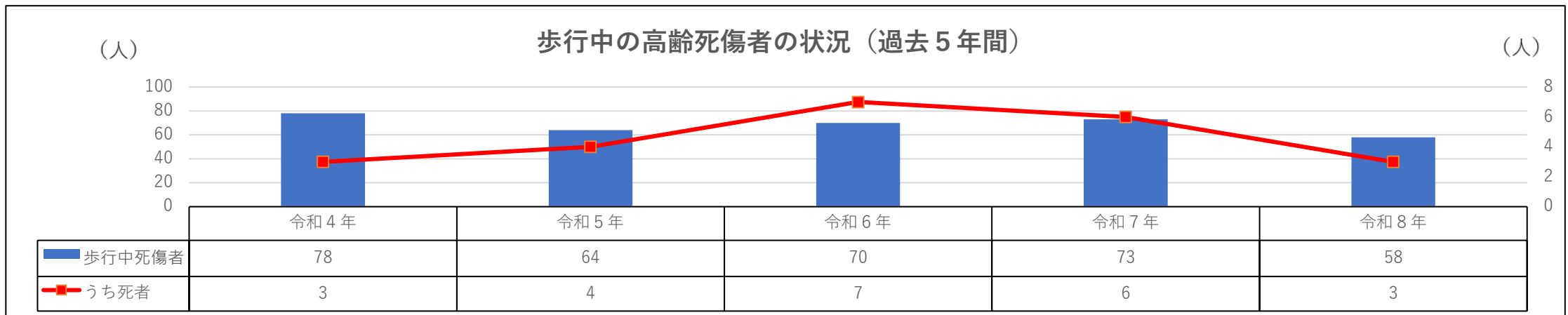


図3

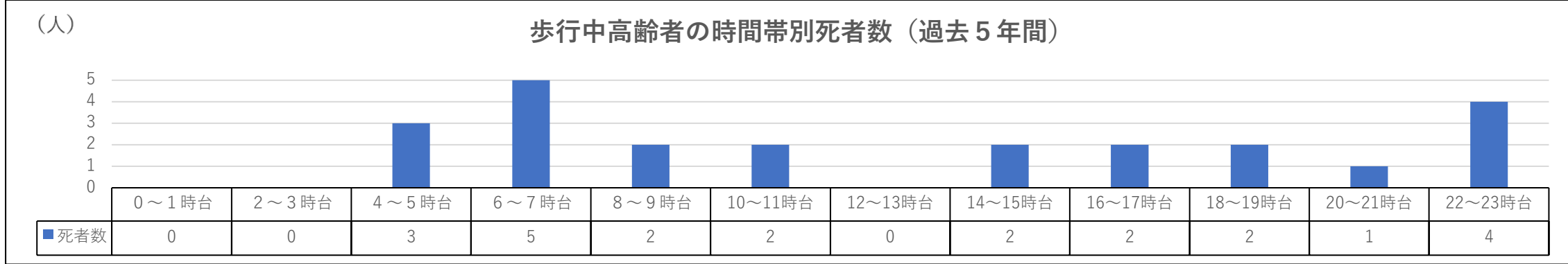


図4

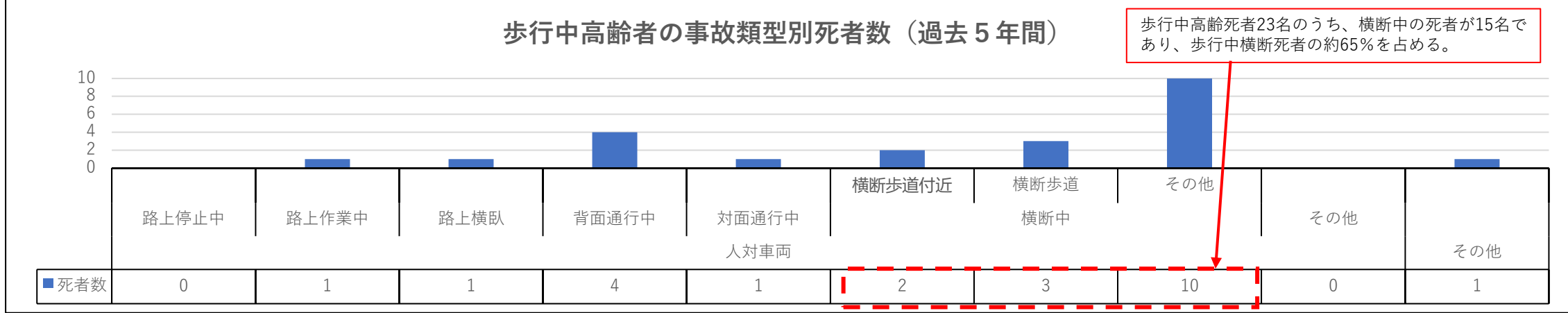
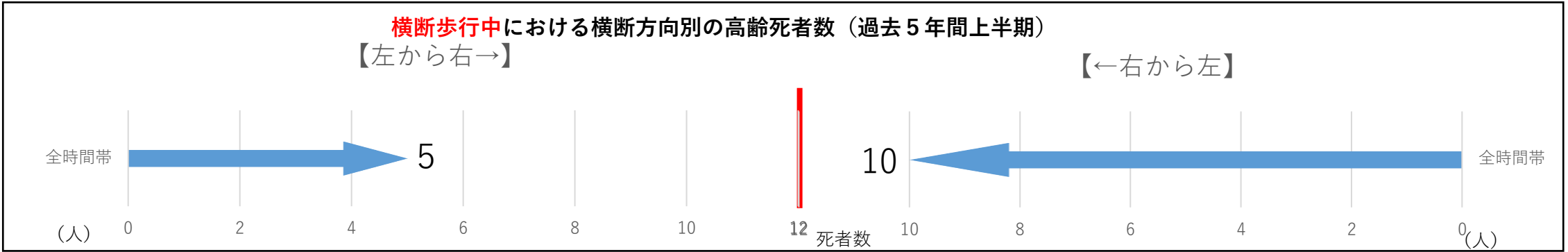


図5



注：歩行中高齢死者23人のうち、横断方向が判明している15人について分析を実施した。

6 こどもの事故の状況について

- こども死傷者数は**減少**し、死亡事故の発生はない（図1）
- 年代別の死傷者は、**小学生が多い**（図2）
- 時間帯別の死傷者は、**14～15時台が最も多く、次いで16～17時台が多い**（図3）
- 状態別の死傷者は、**歩行者が最も多い**（図4）
- こどもの歩行中死傷者のうち、横断歩行中死傷者が**約81%**を占める（図8）
- こどもの横断歩行中死傷者の約半数は**小学1～3年生**が占める（図9）

図1

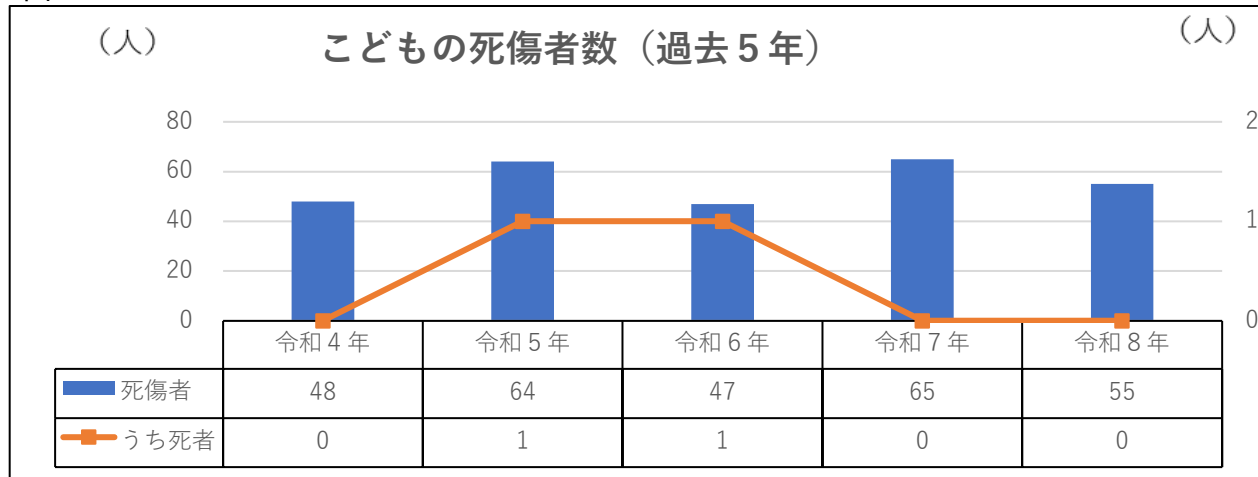


図2

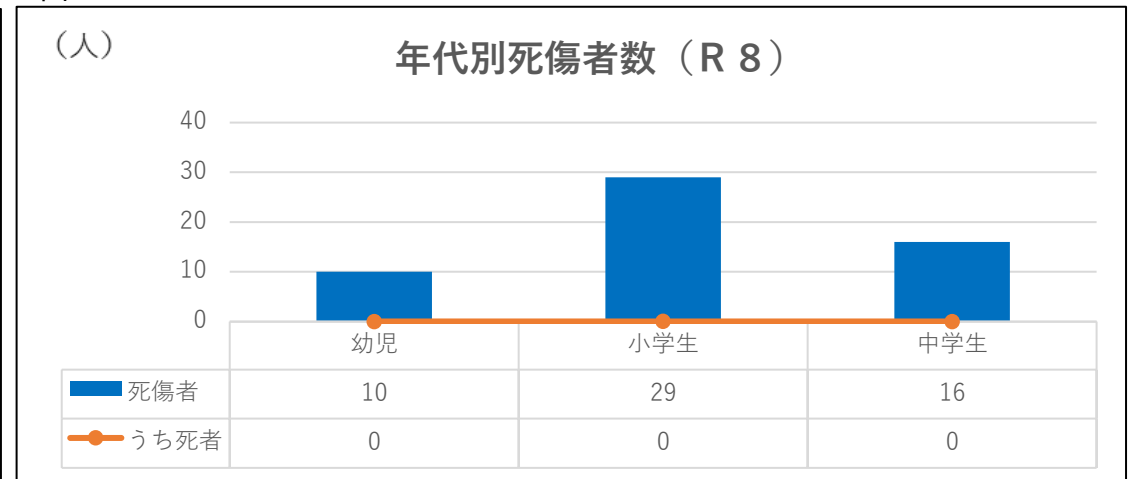


図3

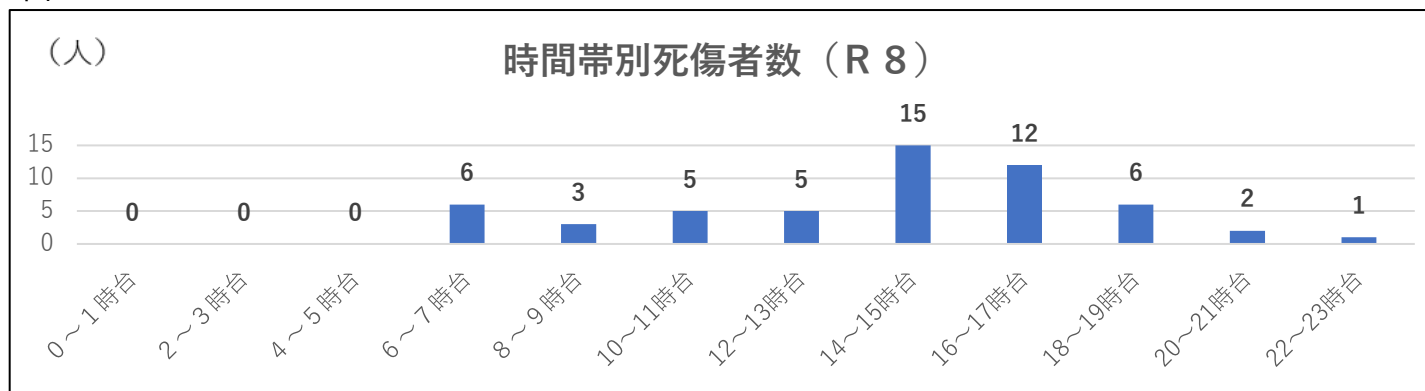


図4

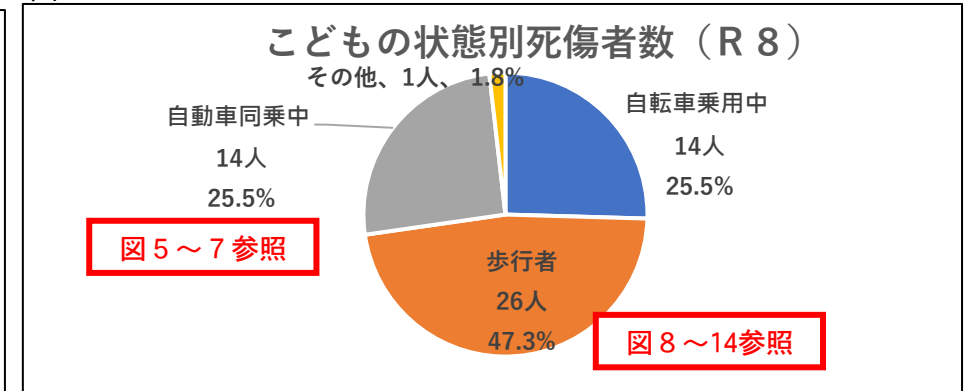


図5

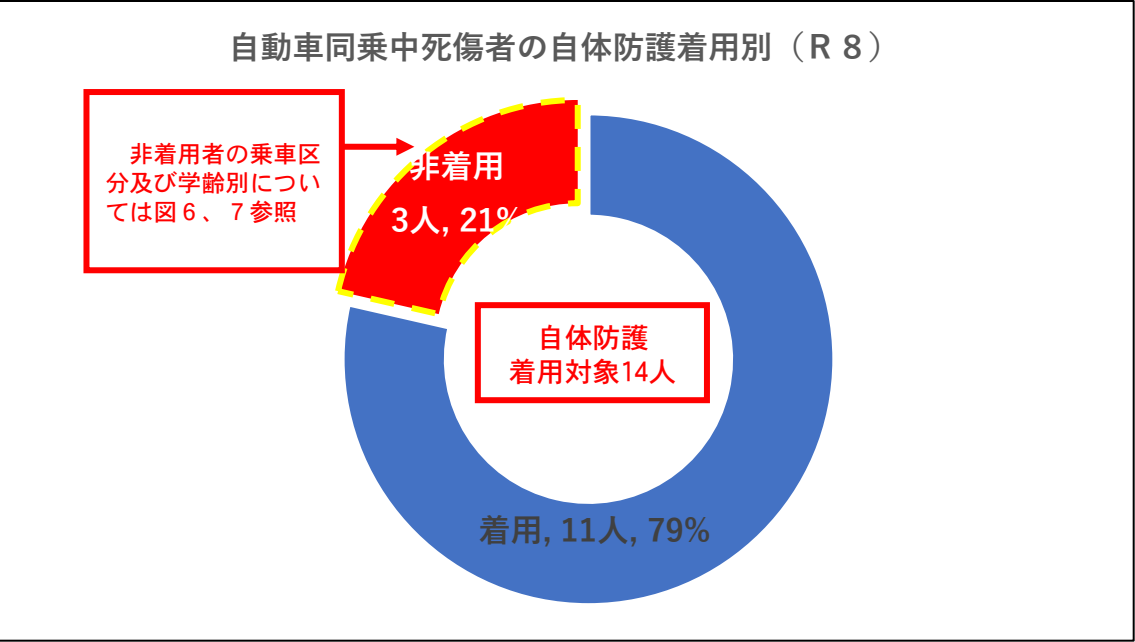


図6

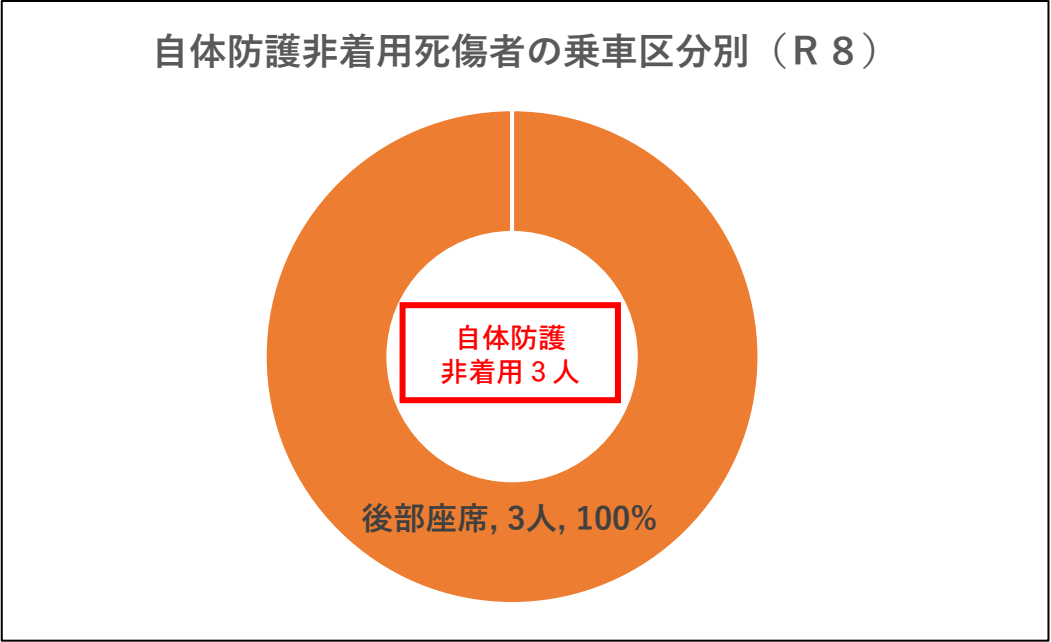


図7



図8

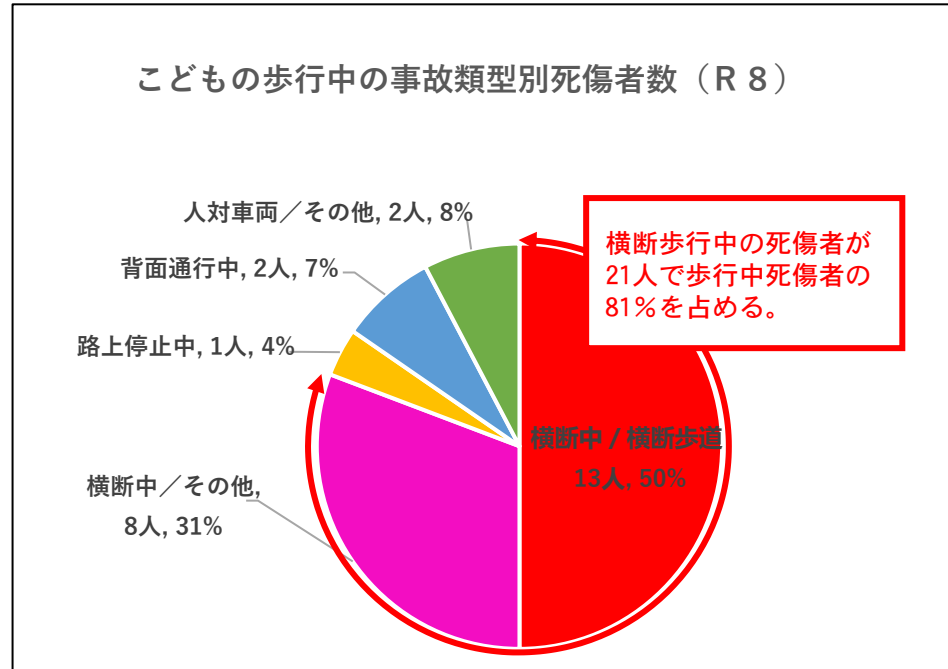


図9

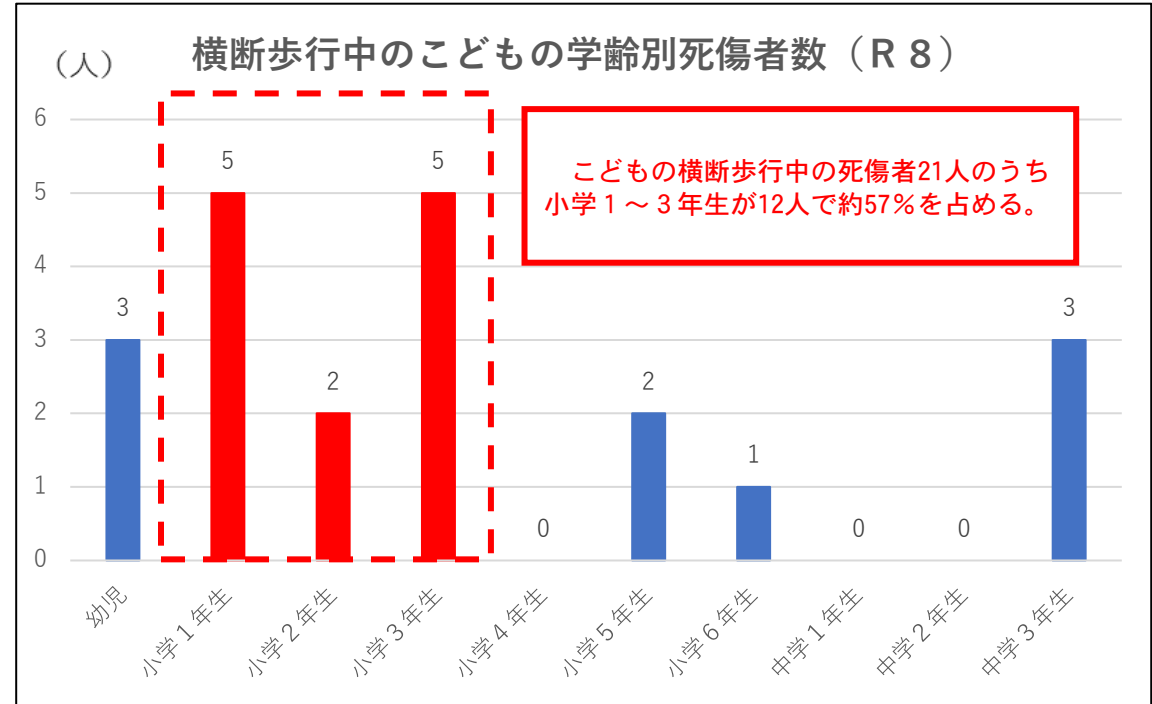


図10

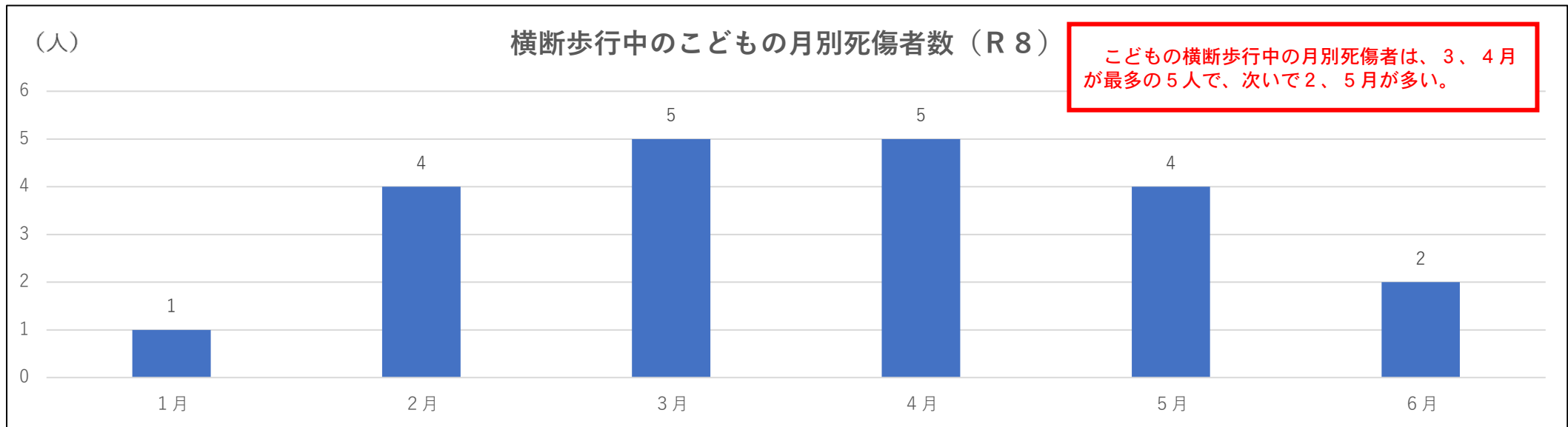


図11

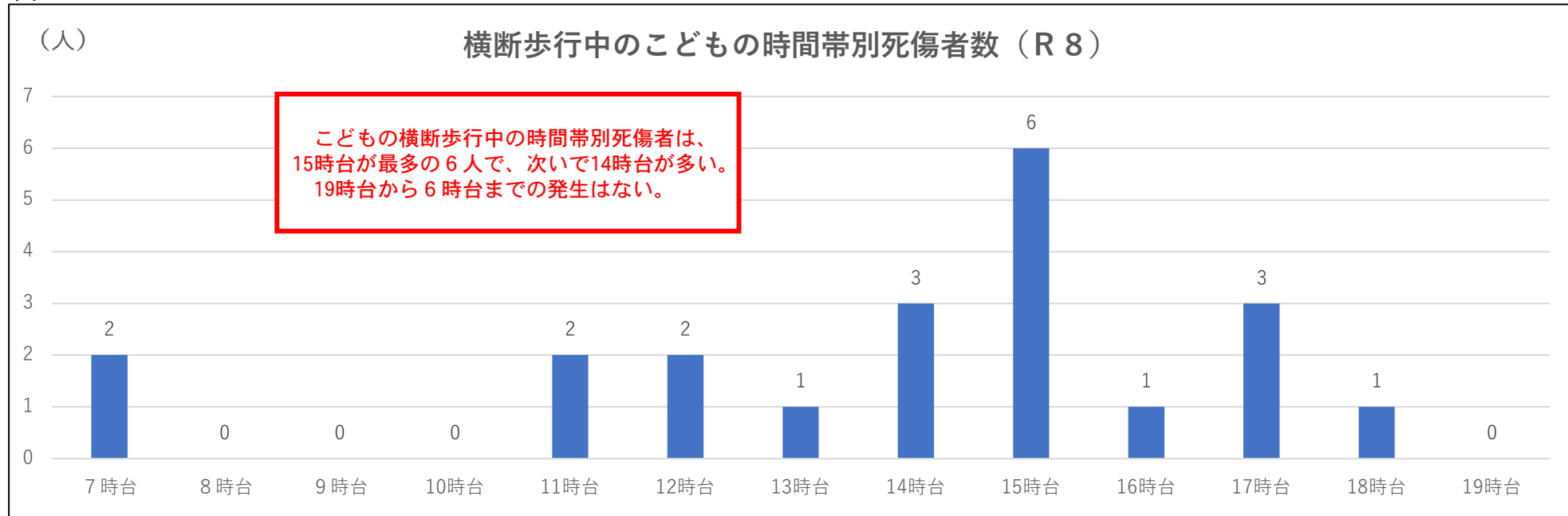


図12

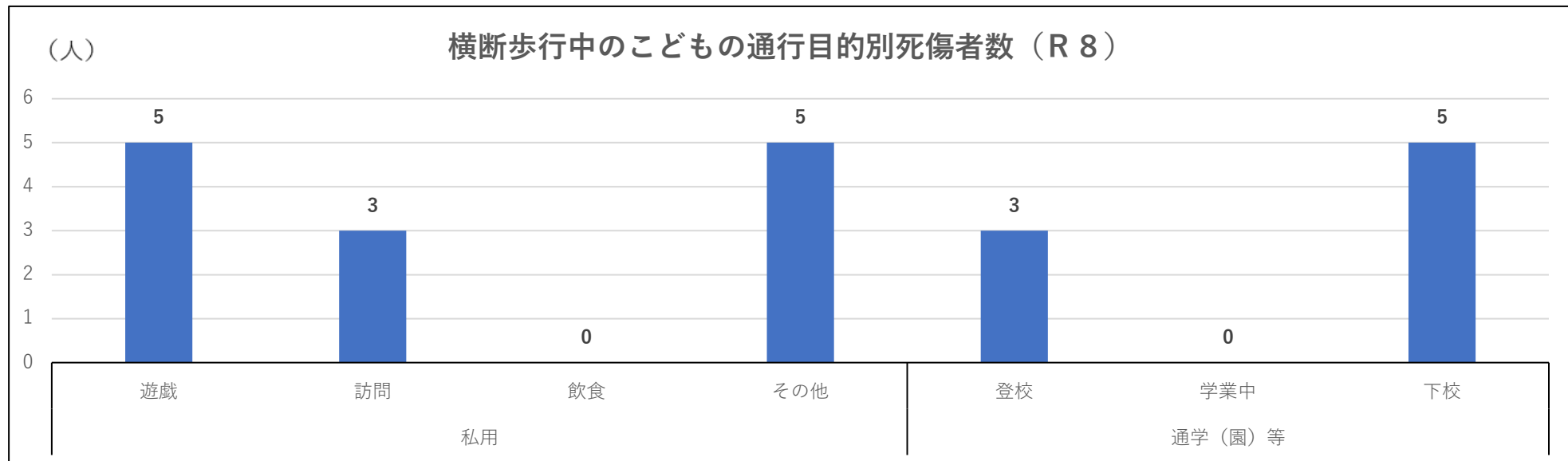


図13

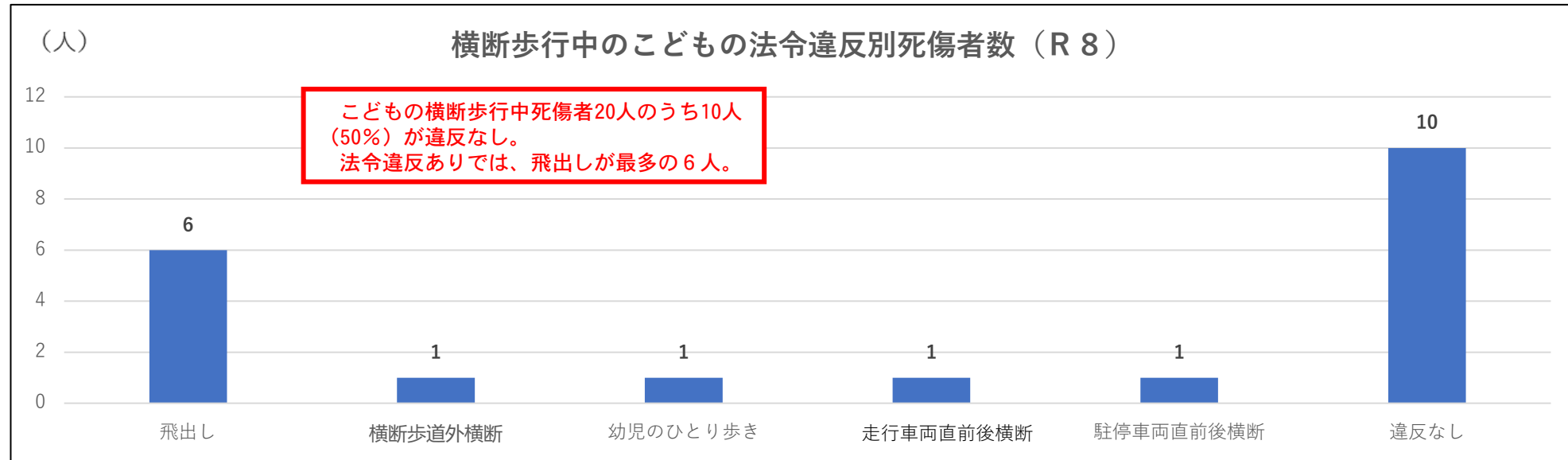
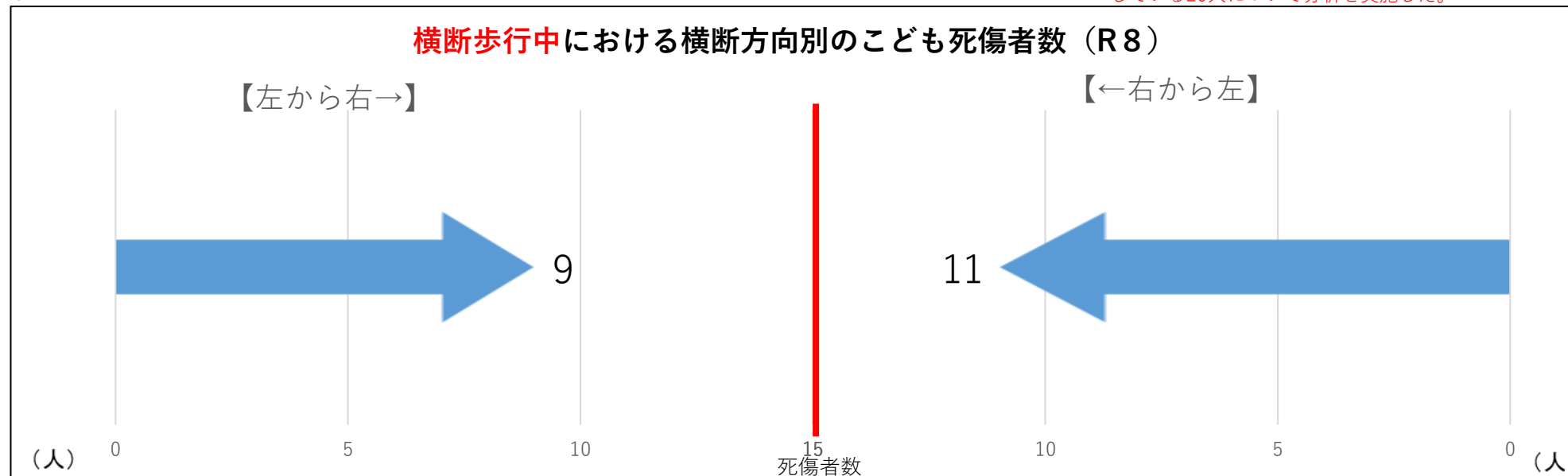


図14



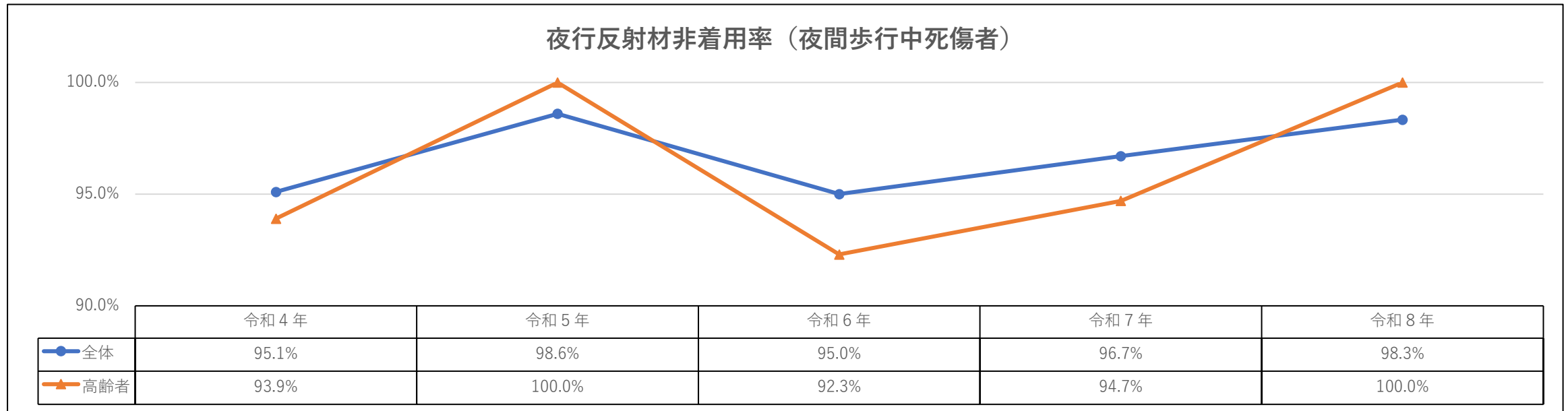
注：横断歩行中こども死傷者21人のうち、法令違反が判明している20人について分析を実施した。

注：横断歩行中こども死傷者21人のうち、横断方向が判明している20人について分析を実施した。

7 反射材着用状況について

- 夜間歩行中の死傷者全体の約98%が反射材非着用（図1、表1）
- 全体、高齢者ともに非着用の割合は、前年に比べ増加（図1、表1、2）

図1



※調査不能は除く

表1 夜間歩行中死傷者（全体）

全体	死傷者総数	反射材あり	反射材なし	非着用率
R4	61	3	58	95.1%
R5	69	1	68	98.6%
R6	80	4	76	95.0%
R7	61	2	59	96.7%
R8	60	1	59	98.3%

表2 夜間歩行中死傷者（高齢者）

高齢者	死傷者総数	反射材あり	反射材なし	非着用率
R4	33	2	31	93.9%
R5	19	0	19	100.0%
R6	26	2	24	92.3%
R7	19	1	18	94.7%
R8	18	0	18	100.0%

8 高齢運転者事故（第1当一般原付以上）の状況について

- 年齢層別の第1当事故件数は、前年より各年齢層で減少した。（図1）
- 年齢層別の事故全体に占める構成率は、前年より各年齢層で減少した。（図2）
- 高齢運転者（第1当一般原付以上）による交通事故は8件で、交通事故全体の約44%を占める（図3）
- 高齢運転者（第1当一般原付以上）による交通事故の法令違反別では、前方不注意・操作不適が多い。（図4、5）

図1

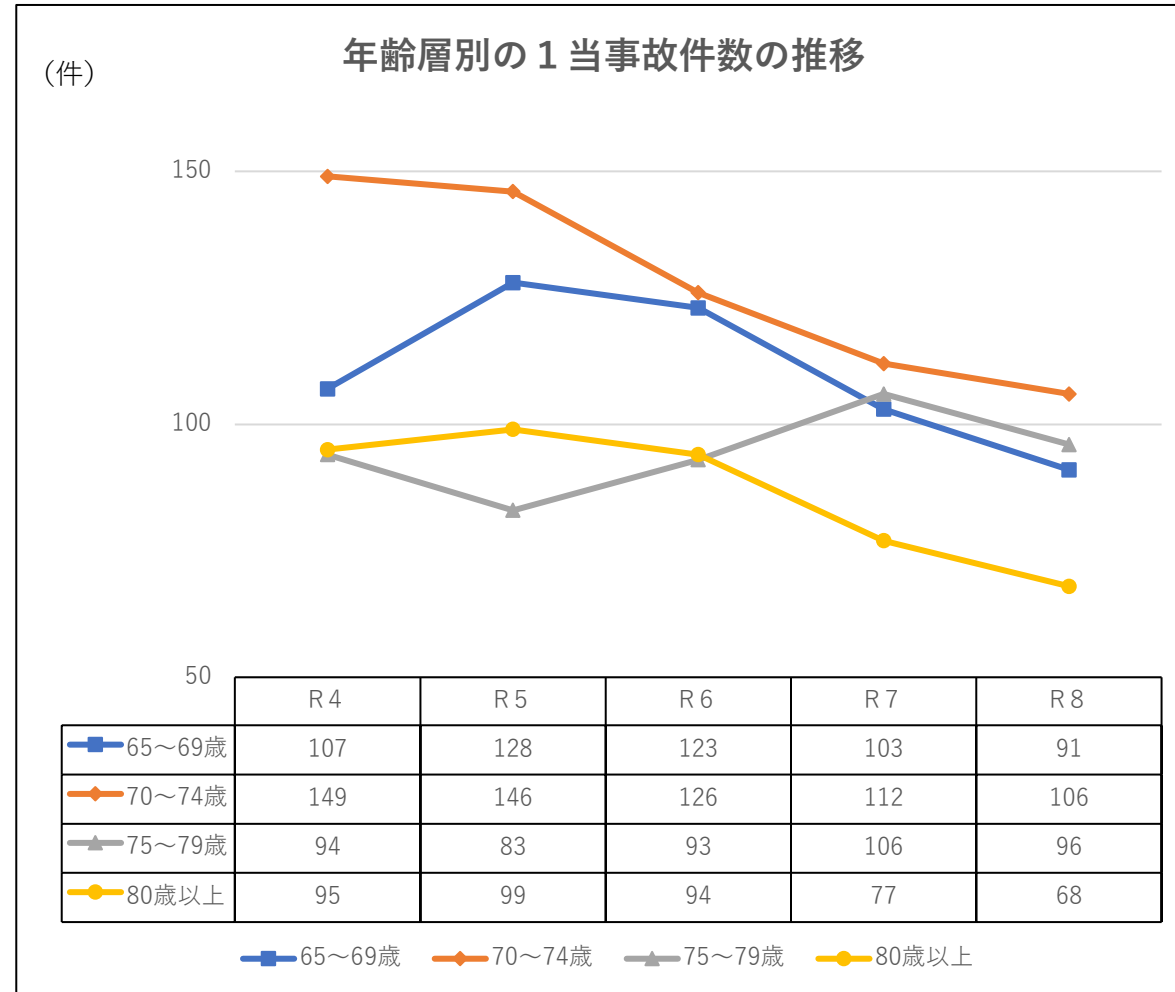


図2

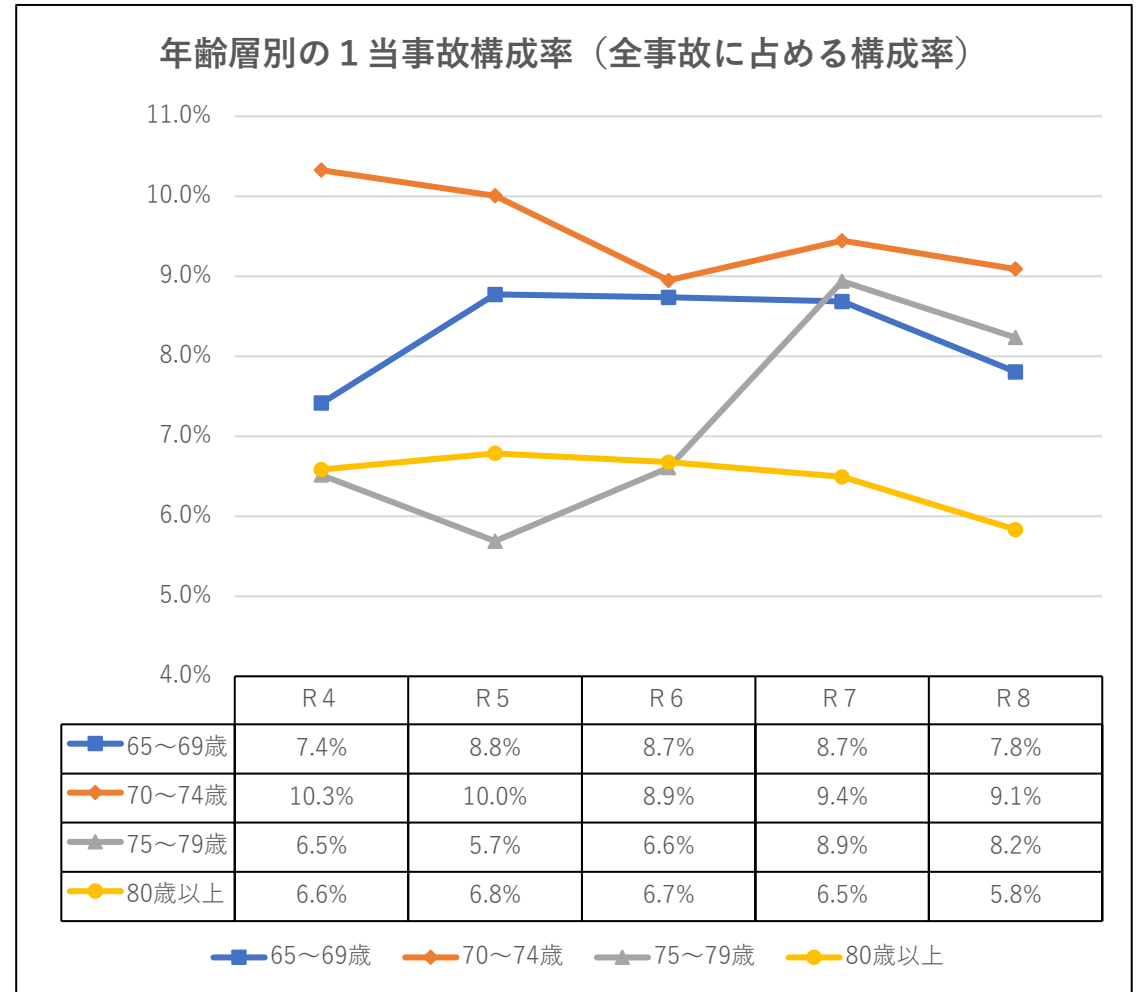


図3

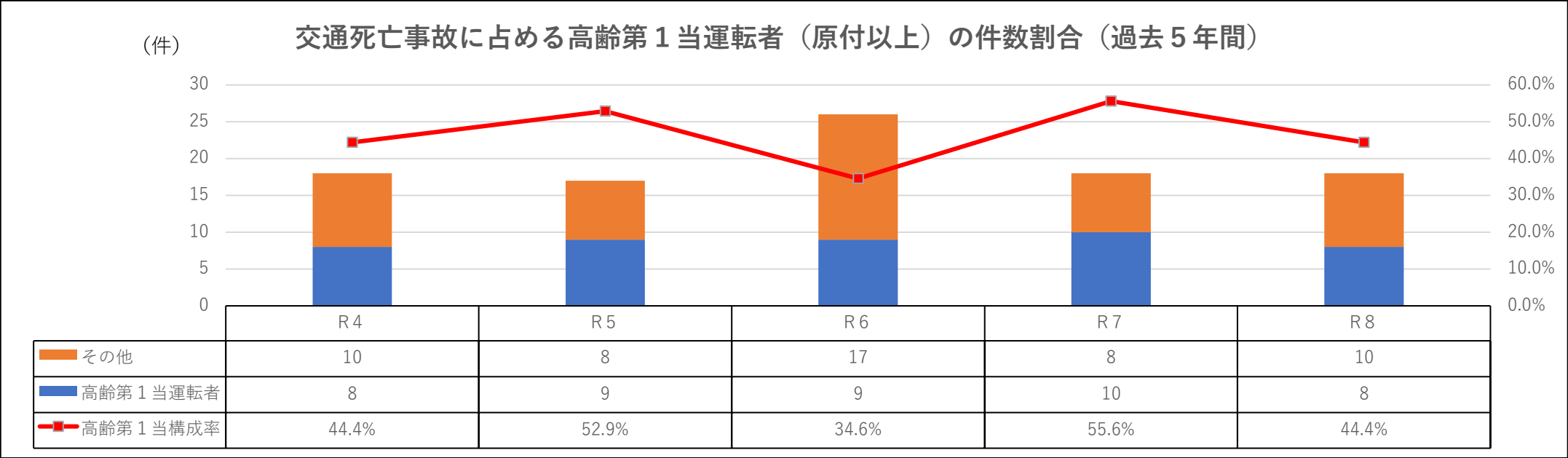


図4

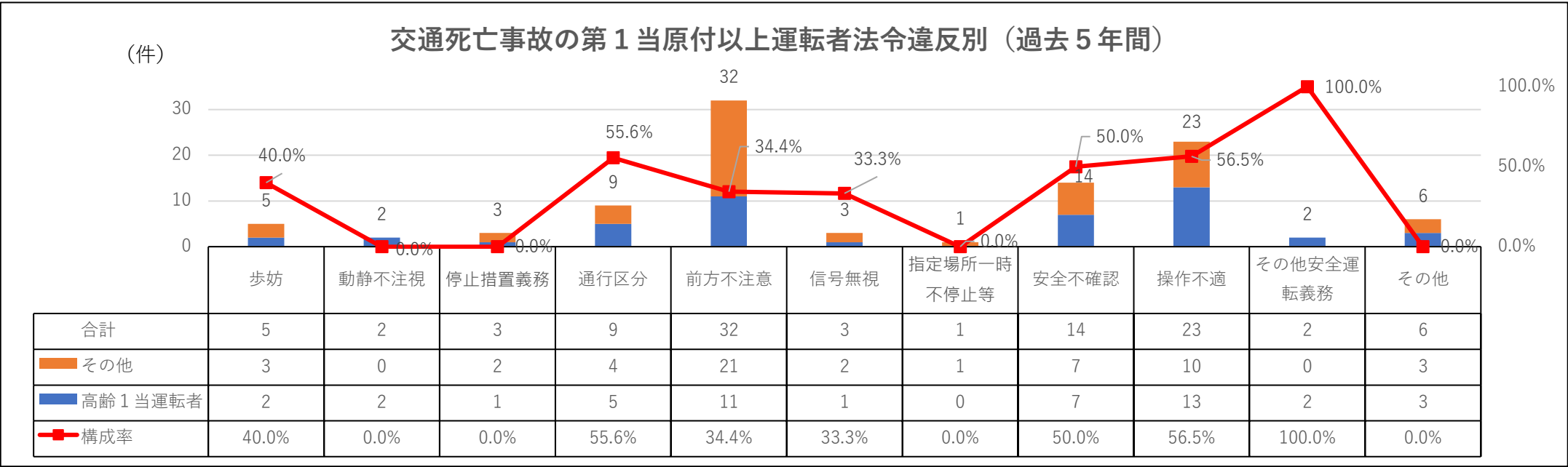


図5

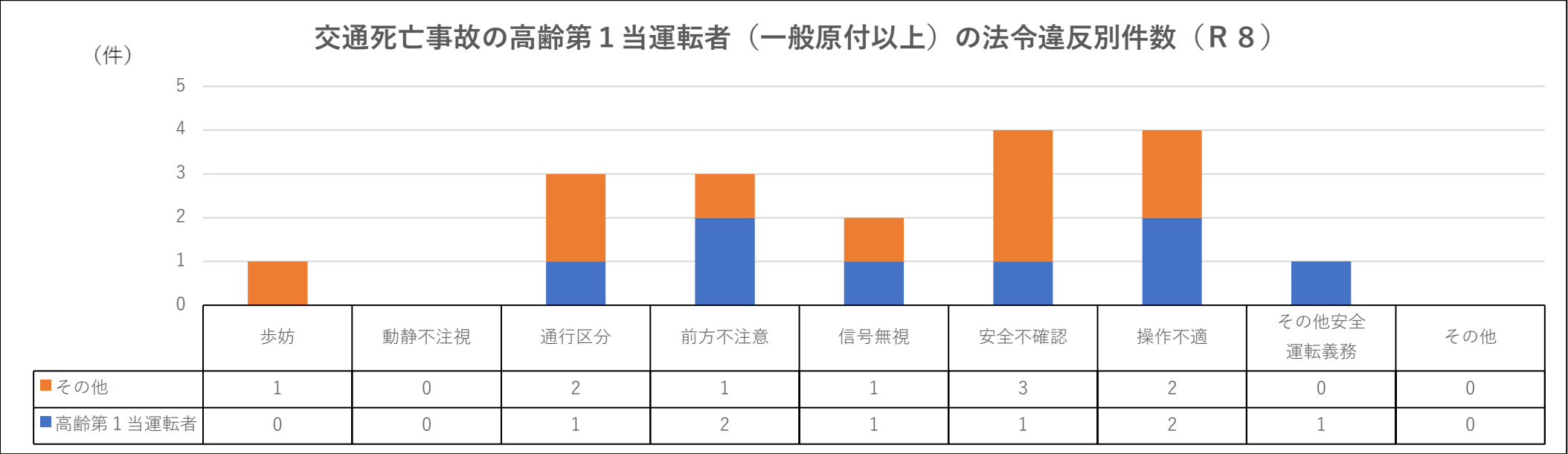


図6

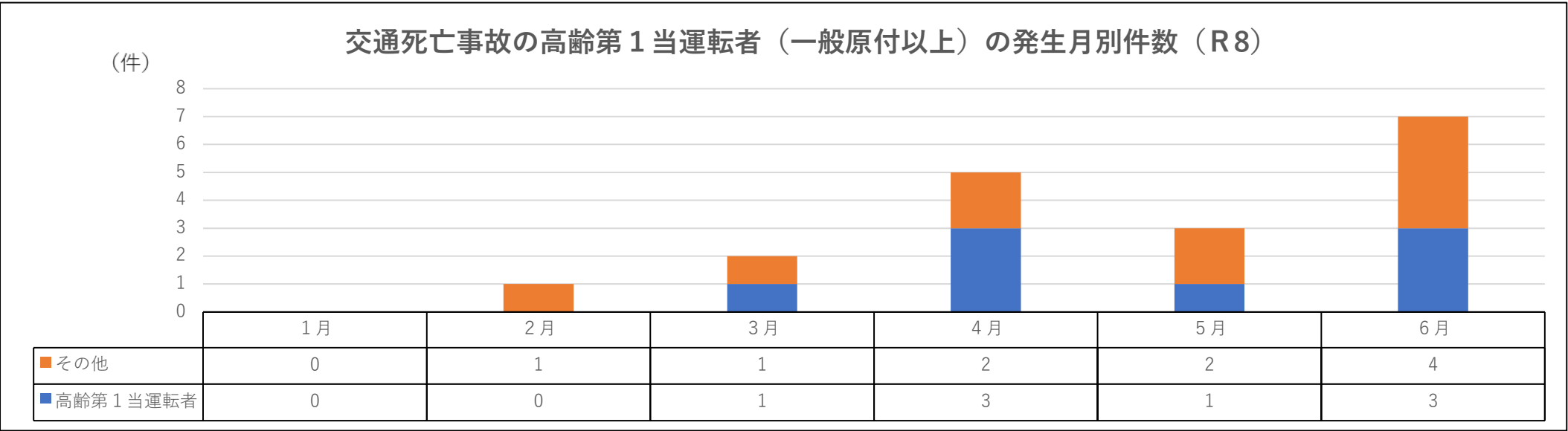


図7

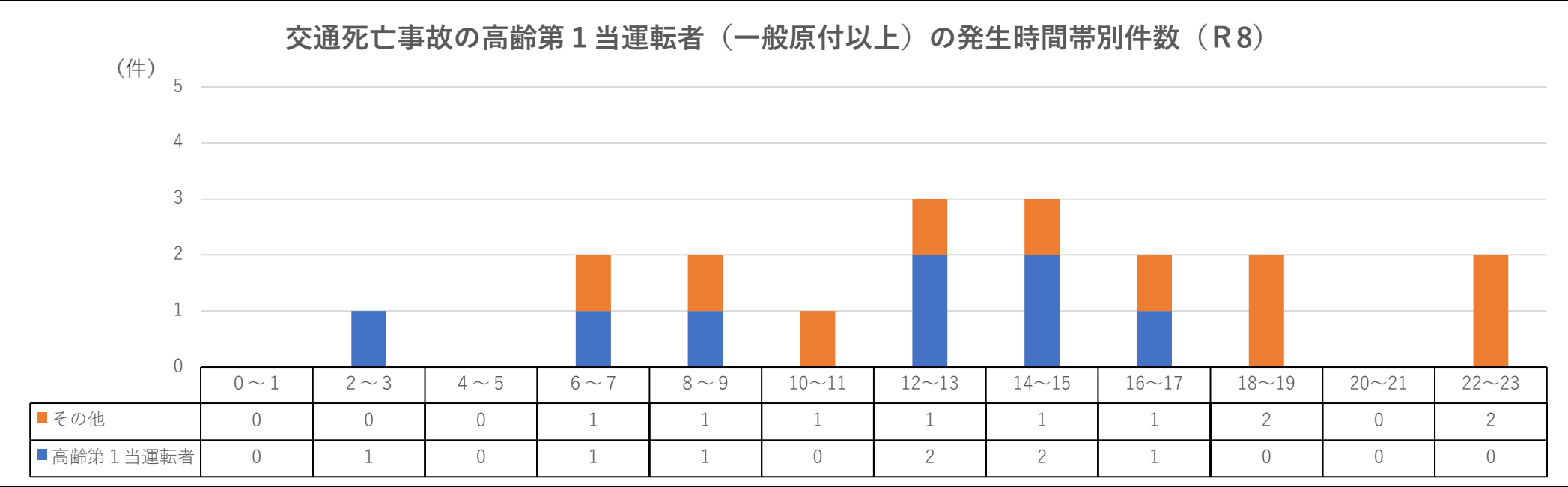
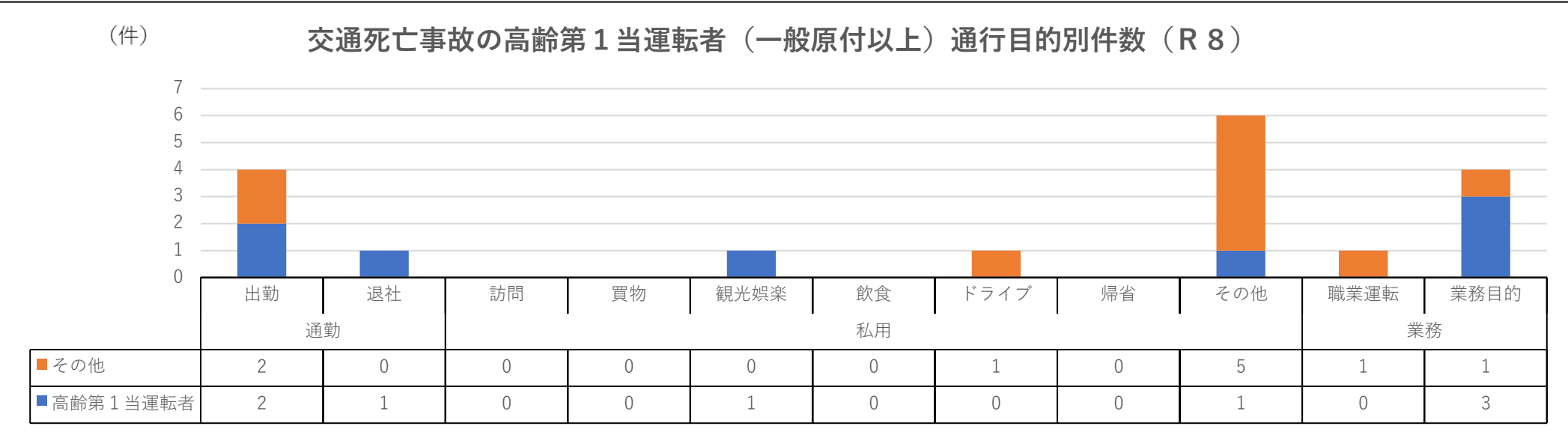


図8



9 飲酒運転事故（第1当一般原付以上）の状況について

- 死者数は前年より減少（図1）
- 発生曜日は木、土曜日が最も多い（図2）
- 発生時間帯は6～7時台が最も多い（図3）
- 車種別では普乗・軽四乗が最も多い（図4）

図1

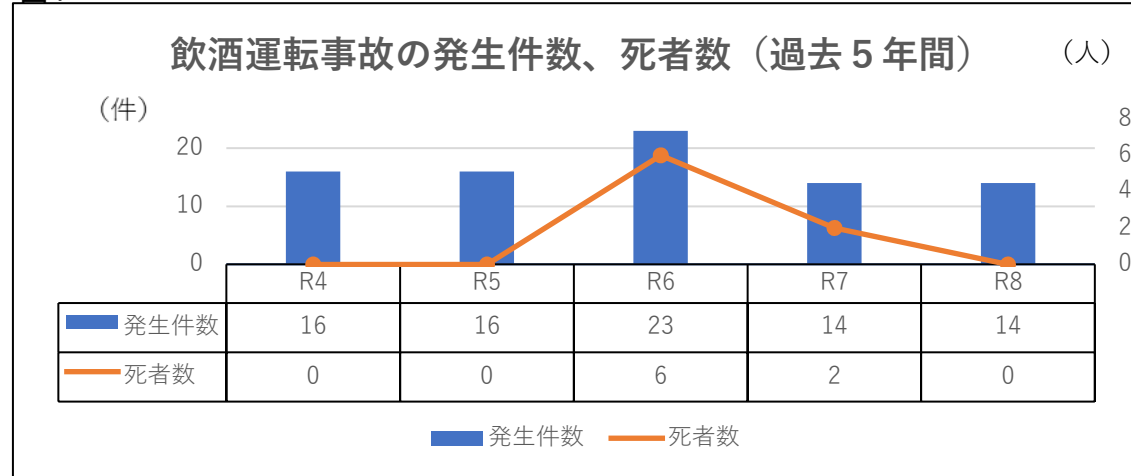


図2

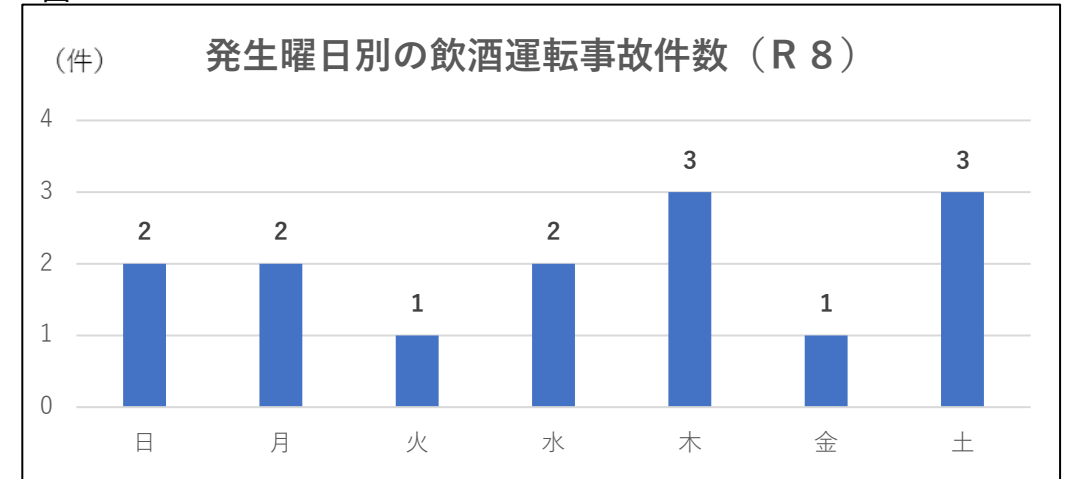


図3

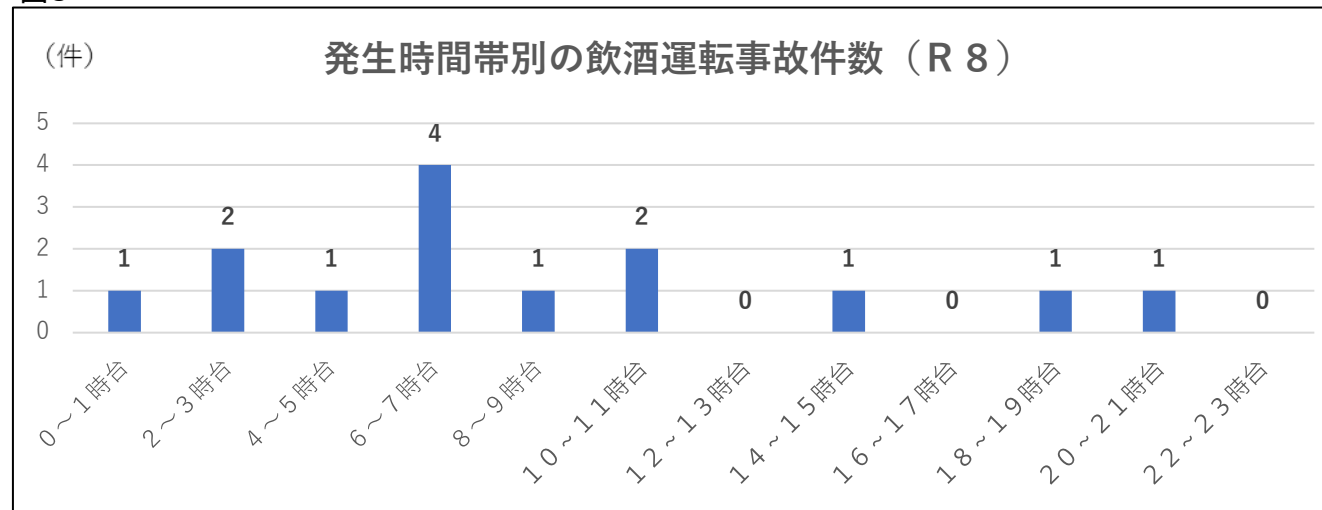
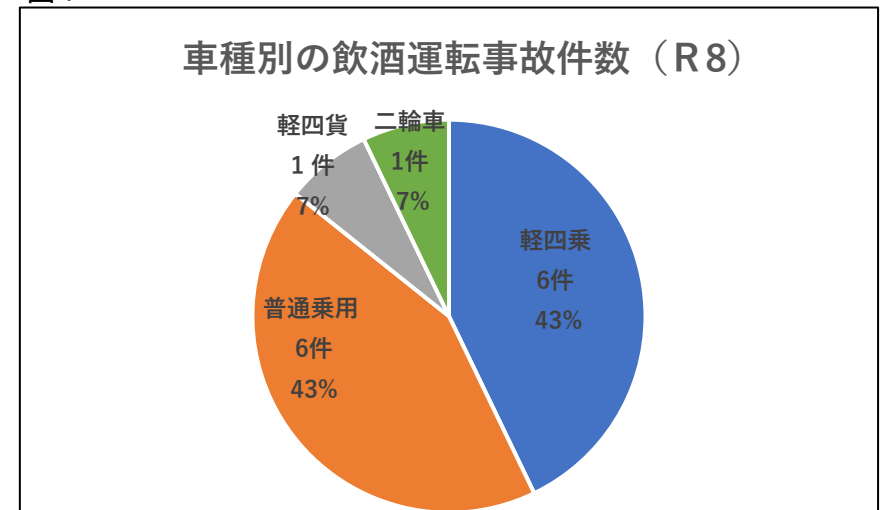


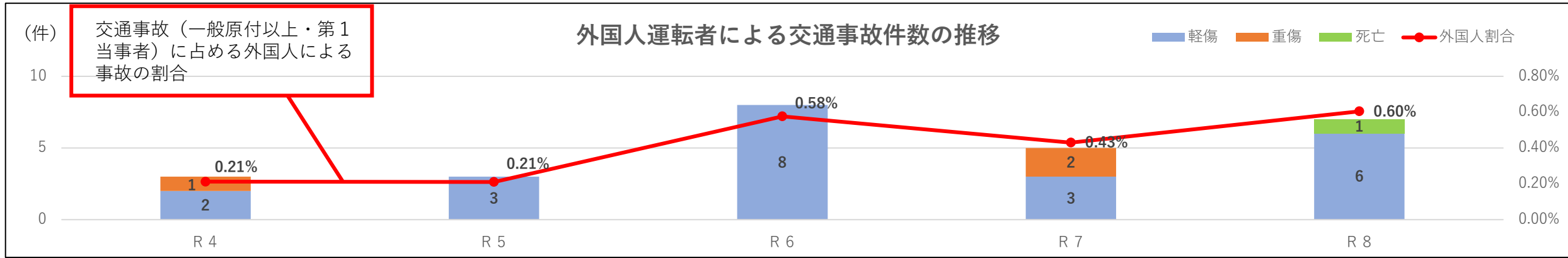
図4



10 外国人運転者事故の状況について

- 外国人運転者による交通事故は、本年は増加傾向（図1）
- 国籍（地域）別の構成率は、フィリピン、ベトナム、台湾、中国、韓国・朝鮮が全体の約7割（図2）
- 日本免許以外の免許が全体の約2割（図3）

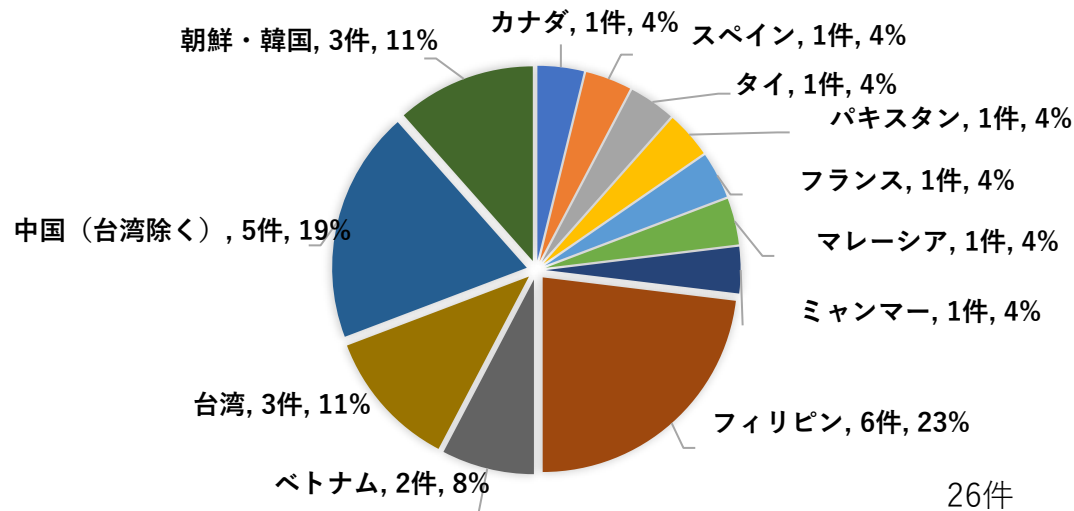
図1



(注)・第1当事者が一般原付以上の外国人（日本国籍以外の者をいい、無国籍の者、国籍不明を含む、以下同じ。）の件数である

図2

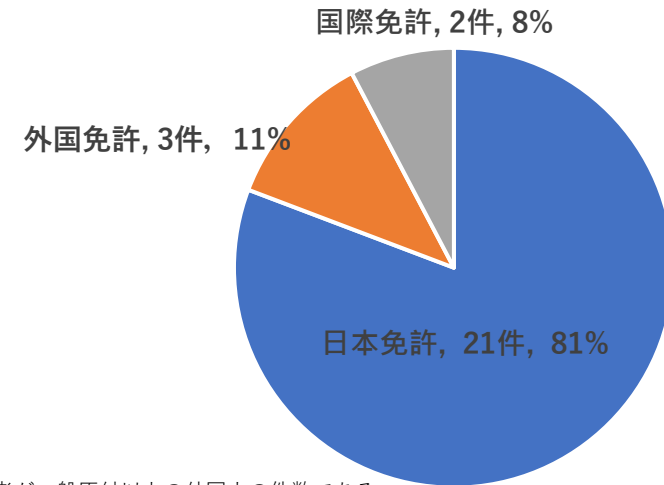
国籍（地域）別外国人運転者による交通事故件数（過去5年間）



(注) 第1当事者が一般原付以上の外国人の件数である。

図3

運転資格別外国人運転者による交通事故件数（過去5年間）



(注)・第1当事者が一般原付以上の外国人の件数である。
 ・国際免許とは、道路交通に関する条約（ジュネーブ条約）第24条第1項の運転免許証で、条約附属書9又は条約附属書10に定める様式に合致したものをいう。
 ・外国免許とは、道路交通法第107条の2に規定される外国運転免許証をいう。